令和3年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-公演団体一覧【Hブロック】

【C区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目/企画	複数年度実施
				小（低）	小（中）	小（高）	中			
G･H･I･J	音楽	オーケストラ等	京都フィルハーモニー室内合奏団	○	○	○	－	夢いっぱいコンサート	■ウイリアム・テル序曲より「スイス軍の行進」/ロッシーニ作曲 ■ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ作曲 ■ずいずいずっころばし/童謡(木管五重奏) ■人形の歌～オペラ「ホフマン物語」より（歌）/オッフェンバック作曲 ■「アルルの女」よりメヌエット、ファランドール/ビゼー 作曲 ■【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】 ■ポストホルンギャロップ/ ケーニッヒ作曲 ■交響詩「魔法使いの弟子」(ナレーション付)/デュカス作曲　等	
H･I･J	音楽	音楽劇	ミラマーレ・オペラ	○	○	○	○	オペラ「おこんじょうるり」 命と呼びかけの大切さを知るために	オペラ「おこんじょうるり」 作曲：林光　　原作：さねとうあきら 台本：若林一郎　　演出：三浦安浩 振付：三浦奈綾	
G･H･I･J	演劇	児童劇	劇団風の子九州	○	○	○	－	「あっかんべー！」は勇気の言葉 （「やだ、やだ あっかんべー！」公演）	「やだ、やだ あっかんべー！」 作・演出/あさのゆみこ 音楽・効果/曲尾友克 美術/あさのゆみこ	
H･I･J	演劇	ミュージカル	劇団ショーマンシップ	○	○	○	－	笑って！泣いて！心揺さぶる物語を子供たちへ	『ないた赤おに』 原作：浜田廣介 脚色・演出：仲谷一志 音楽：山浦弘志 振付：近藤勇人 制作総指揮：仲谷一志	
G･H･I･J	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般社団法人 京都能楽囃子方同明会	○	○	○	○	囃子堂　音楽として聴く能	1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 2. 各楽器解説 3. 早笛 4. カケ声で表現してみよう 5. 能楽囃子の表現法（大ベシ・流シ） 6. 三番三共演 7. 神楽 8. 獅子 9. 終わりの挨拶と質問コーナー	

【A区分・B区分団体】

H	音楽	オーケストラ等	日本センチュリー交響楽団	○	○	○	○	日本センチュリー交響楽団の 見て、聴いて、一緒に！オーケストラ♪	ビゼー：歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲、オッフェンバック：歌劇『天国と地獄』より序曲、徳山 美奈子：大阪素描 より 祭、各校校歌 等 【小学校公演】三村総撒編：手拍子協奏曲「Clip Beat Clap！2」、すぎやまこういち：ドラゴンクエスト序曲 等 【中学校公演】アンダーソン：プリンク・プレンク・プランク、スメタナ：連作交響詩『我が祖国』より モルダウ(ブルタヴァ） 等	
H	音楽	オーケストラ等	シエナ・ウインド・オーケストラ	○	○	○	○	みんなのハートは何拍子？～吹奏楽の楽器と拍子が学べるコンサート～	【オープニング】 リード：「吹奏楽のための第一組曲」より “ギャロップ” 【2拍子】 ビゼー：歌劇「カルメン」より“ハバネラ” 等 【3拍子】 サン・サーンス：「動物の謝肉祭」より“ぞう” 等 （共演コーナー）シンスタイン：ロック・トラップ 等 【5拍子】 シフリン：ミッション・インポッシブル 【6拍子～変拍子】 ロジャース：「サウンド・オブ・ミュージック」より“私のお気に入り” 【アンコール】 スーザ：星条旗よ永遠なれ 等	
H	音楽	オーケストラ等	神奈川フィルハーモニー管弦楽団	○	○	○	○	神奈川フィル「ゆめコンサート」 オーケストラと共演！	1. ビゼー作曲：歌劇「カルメン」より前奏曲 （省略） 3. オーケストラの楽器の紹介（1種類ごと） 4. 一緒に演奏しよう！（共演） 　ロジャース作曲：サウンド・オブ・ミュージック ［中学校吹奏楽］等 5. 児童生徒作詞作曲：私たちだけの合唱曲 （省略） 7. （アンコール）校歌（オーケストラによる特別編曲の演奏と斉唱） 等	R2 （継続）
H	演劇	児童劇	人形劇団むすび座	○	○	○	－	自己肯定感を育む人形劇「オズのまほうつかい」 ～自分を好きになる冒険の旅～	「オズのまほうつかい」 原作：ライマン・ボーム 脚色／篠原久美子（劇団劇作家） 演出／関根信一（劇団フライングステージ） 美術／宮武史郎・小辻賀典 音楽・音響／ノノヤママナコ（マナコ・プロジェクト） 振付・振付指導／LONTO（ラストラーダカンパニー）・服部哲郎（afterimage） 衣装デザイン／長谷川真代 照明／若狭慶大（藤井照明） 合唱指導／坂倉恵三子・坂倉歌奈子 制作／吉田明子・伊藤博美	
H	演劇	演劇	有限会社 劇団銅鑼	○	○	○	○	劇団銅鑼公演『いのちの花』	「いのちの花」 原作：向井愛実著「いのちの花」(株式会社WAVE出版刊) 遊 晴已著「世界でいちばんかなしい花 それは青森の女子高生たちがベット 殺処分ゼロを目指して咲かせた花」(ギャンビット刊) 脚本：畑澤聖悟 演出：齊藤理恵子	
H	舞踊	バレエ	一般社団法人貞松・浜田バレエ団	○	○	○	○	貞松・浜田バレエ団 『子供のためのバレエ鑑賞会』	白鳥の湖ハイライト（2幕・4幕の湖の場より） チャイコフスキー曲 日本のバレエ『祭』 中村茂隆選曲 ※その他演目にて小中学校用あり	
H	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益社団法人 宝生会	○	○	○	○	はじめまして 能"楽"	■狂言「柿山伏」 ■能「黒塚」	
H	伝統芸能	邦楽	邦楽グループ「玉手箱」	○	○	○	○	魅惑の和楽器体験「邦楽入門コンサート」	1.六段調　2.鹿の遠音　3.琵琶　4.春の海 5.雪ものがたり～朗読入り～または「海鳴り」 6.バロック風「日本の四季」より」 ※または「ワールド・トリップ！」 7.合同演奏さくら～みんなで合奏してみよう	
H	伝統芸能	邦舞	沖縄伝統組踊「子の会」	○	○	○	○	おきなわ伝統芸能 『琉球舞踊』と『組踊』	本公演演目：琉球舞踊 『四つ竹)』と 組踊 『万歳(まんざい)敵討(てきうち)』 監修：宮城能鳳(みやぎのうほう) 等	
H	伝統芸能	演芸	わんぱく寄席・学校寄席	○	○	○	○	みんなで笑おう！ 「わんぱく寄席」「学校寄席」	1，開ロー番　2，上方落語 3，江戸落語 4，代表児童・生徒による落語発表会と寄席踊り「かっぽれ」 5，色物 6，落語 ※落語の演目は「牛ほめ」「子ほめ」「お菊の皿」「つる」「狸の札」「元犬」など子どもたちにわかりやすいものの中から、子どもたちの雰囲気をみて落語家が当日選定します。	
G･H･I･J	音楽	オーケストラ等	京都フィルハーモニー室内合奏団	○	○	○	－	夢いっぱいコンサート	■ウイリアム・テル序曲より「スイス軍の行進」/ロッシーニ作曲 ■ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ作曲 ■ずいずいずっころばし/童謡(木管五重奏) ■人形の歌～オペラ「ホフマン物語」より（歌）/オッフェンバック作曲 ■「アルルの女」よりメヌエット、ファランドール/ビゼー 作曲 ■【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】 ■ポストホルンギャロップ/ ケーニッヒ作曲 ■交響詩「魔法使いの弟子」(ナレーション付)/デュカス作曲　等	
H･I･J	音楽	音楽劇	ミラマーレ・オペラ	○	○	○	○	オペラ「おこんじょうるり」 命と呼びかけの大切さを知るために	オペラ「おこんじょうるり」 作曲：林光　　原作：さねとうあきら 台本：若林一郎　　演出：三浦安浩 振付：三浦奈綾	
G･H･I･J	演劇	児童劇	劇団風の子九州	○	○	○	－	「あっかんべー！」は勇気の言葉 （「やだ、やだ あっかんべー！」公演）	「やだ、やだ あっかんべー！」 作・演出/あさのゆみこ 音楽・効果/曲尾友克 美術/あさのゆみこ	
H･I･J	演劇	ミュージカル	劇団ショーマンシップ	○	○	○	－	笑って！泣いて！心揺さぶる物語を子供たちへ	『ないた赤おに』 原作：浜田廣介 脚色・演出：仲谷一志 音楽：山浦弘志 振付：近藤勇人 制作総指揮：仲谷一志	
G･H･I･J	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般社団法人京都能楽囃子方同明会	○	○	○	○	囃子堂　音楽として聴く能	1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 2. 各楽器解説 3. 早笛 4. カケ声で表現してみよう 5. 能楽囃子の表現法（大ベシ・流シ） 6. 三番三共演 7. 神楽 8. 獅子 9. 終わりの挨拶と質問コーナー	

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策については，実施決定後に令和3年4月以降の状況及び令和3年度予算等を勘案し，文化庁(事務局)，実施団体，実施校間において，必要事項を検討・調整の上で実施予定です。このため，各企画の出演希望調書では通常規模の公演を想定した企画内容を記載しています。

※複数年度実施欄に「R1」の記載がある団体は令和元年度から，「R2」の記載がある団体は令和2年度から，「R3」の記載がある団体は令和3年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.htmlから、団体のホームページや現在実施されている令和2年度の情報を閲覧することができます。

		C区分団体				
		K263	K316	K442	K621	K940
		京都フィルハーモニー室内合奏団	ミラマーレ・オペラ	劇団風の子九州	劇団ショーマンシップ	一般社団法人 京都能楽囃子方同明会
巡回ブロック		G/H/I/J	H/I/J	G/H/I/J	H/I/J	G/H/I/J
種目		オーケストラ等	音楽劇	児童劇	ミュージカル	歌舞伎・能楽
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし
6月1日	火	○	○			●
6月2日	水	○	○			●
6月3日	木	○	○			●
6月4日	金		○			●
6月5日	土		●			
6月6日	日		●	●		
6月7日	月		○	○		○
6月8日	火		○	○		○
6月9日	水		○	○		○
6月10日	木		○	○		●
6月11日	金		○	○		●
6月12日	土		●			
6月13日	日		●			
6月14日	月		○	○		○
6月15日	火		○	○		○
6月16日	水		○	○		○
6月17日	木		○	○		○
6月18日	金		○	○		○
6月19日	土		●			
6月20日	日					
6月21日	月	○		○		○
6月22日	火	○		○	●	○
6月23日	水	○		○	○	○
6月24日	木	○		○	○	●
6月25日	金	○		○	○	●
6月26日	土					
6月27日	日					
6月28日	月			○	○	○
6月29日	火			○	○	○
6月30日	水			○	○	○
7月1日	木			○	○	○
7月2日	金			○	○	○
7月3日	土					
7月4日	日					
7月5日	月	○		○	○	○
7月6日	火	○		○	○	○
7月7日	水	○		○	○	○
7月8日	木	○		○	○	○
7月9日	金	○		○	○	○
7月10日	土					
7月11日	日					
7月12日	月	○				○
7月13日	火	○				○
7月14日	水	○				○
7月15日	木					○
7月16日	金					○
7月17日	土					
7月18日	日					
7月19日	月					
7月20日	火					
7月21日	水					
7月22日	木					
7月23日	金					
7月24日	土					
7月25日	日					
7月26日	月					
7月27日	火					
7月28日	水					
7月29日	木					
7月30日	金					
7月31日	土					
8月1日	日					
8月2日	月					
8月3日	火					
8月4日	水					
8月5日	木					
8月6日	金					
8月7日	土					
8月8日	日					
8月9日	月					
8月10日	火					
8月11日	水					
8月12日	木					
8月13日	金					
8月14日	土					
8月15日	日					
8月16日	月					
8月17日	火					
8月18日	水					
8月19日	木					
8月20日	金					
8月21日	土					
8月22日	日					
8月23日	月					
8月24日	火					○
8月25日	水					○
8月26日	木					○
8月27日	金					●
8月28日	土					
8月29日	日					
8月30日	月				○	○
8月31日	火				○	○
9月1日	水	○			○	○
9月2日	木	○			○	○
9月3日	金	○			○	○
9月4日	土					
9月5日	日					
9月6日	月	○			○	○
9月7日	火	○			○	○
9月8日	水	○			○	○
9月9日	木	○			○	○
9月10日	金	○			○	○
9月11日	土					
9月12日	日					
9月13日	月	○			○	●
9月14日	火	○			○	●
9月15日	水	○			○	○
9月16日	木	○			○	○
9月17日	金	○			○	○
9月18日	土					
9月19日	日					
9月20日	月					
9月21日	火				○	●
9月22日	水				○	●
9月23日	木					
9月24日	金				○	●
9月25日	土					
9月26日	日					
9月27日	月				○	○
9月28日	火	○			○	○
9月29日	水	○			○	○
9月30日	木	○			○	○
10月1日	金				○	○
10月2日	土					
10月3日	日		●			
10月4日	月		○		○	○
10月5日	火		○		○	○
10月6日	水		○		○	○
10月7日	木		○		○	○
10月8日	金		○		○	○

	A・B区分団体									
	H207	H235	H1602	H407	H514	H708	H939	H1119	H1205	H1304
	日本センチュリー交響楽団	シエナ・ウインド・オーケストラ	神奈川フィルハーモニー管弦楽団	人形劇団むすび座	有限会社　劇団銅鑼	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団	公益社団法人 宝生会	邦楽グループ「玉手箱」	沖縄伝統組踊「子の会」	わんぱく寄席・学校寄席
巡回ブロック	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
種目	オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	演劇	バレエ	歌舞伎・能楽	邦楽	邦舞	演芸
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし	なし
6月1日						●	○	○		○
6月2日						○	○	○		○
6月3日						○	○	○		○
6月4日						○		○		○
6月5日										
6月6日										
6月7日						●	○	○		○
6月8日						○	○	○		○
6月9日						○	○	○		○
6月10日		○				○	○	○		○
6月11日		○				○	○	○		○
6月12日										
6月13日									●	
6月14日	○	○				●	○	○	○	○
6月15日	○	○				○	○	○	○	○
6月16日	○	○				○	○	○	○	○
6月17日	○	○				○		○	○	○
6月18日	○	○				○	○	○	○	○
6月19日									●	
6月20日										
6月21日		○				●		○		○
6月22日		○				○		○		○
6月23日		○				○		○		○
6月24日		○				○		○		○
6月25日		○				○		○		○
6月26日										
6月27日									●	
6月28日		○						○	○	○
6月29日		○						○	○	○
6月30日		○						○	○	○
7月1日							○	○	○	○
7月2日							○	○	○	○
7月3日									●	
7月4日										
7月5日							○	○		○
7月6日		○					○	○		○
7月7日		○						○		○
7月8日		○						○		○
7月9日		○						○		○
7月10日										
7月11日									●	
7月12日		○						○	○	○
7月13日		○						○	○	○
7月14日		○						○	○	○
7月15日		○						○	○	○
7月16日		○						○	○	○
7月17日									●	
7月18日										
7月19日										
7月20日										
7月21日										
7月22日										
7月23日										
7月24日										
7月25日										
7月26日										
7月27日										
7月28日										
7月29日										
7月30日										
7月31日										
8月1日										
8月2日										
8月3日										
8月4日										
8月5日										
8月6日										
8月7日										
8月8日										
8月9日										
8月10日										
8月11日										
8月12日										
8月13日										
8月14日										
8月15日										
8月16日										
8月17日										
8月18日										
8月19日										
8月20日										
8月21日										
8月22日										
8月23日										
8月24日		○					○	○		○
8月25日		○					○	○		○
8月26日		○					○	○		○
8月27日		○					○	○		○
8月28日										
8月29日										
8月30日		○					○	○		○
8月31日		○					○	○		○
9月1日		○					○	○		○
9月2日		○					○	○		○
9月3日		○						○		○
9月4日										
9月5日										
9月6日	●	○					○	○		○
9月7日	○	○					○	○		○
9月8日	○	○					○	○		○
9月9日	○	○						○		○
9月10日	○	○						○		○
9月11日										
9月12日										
9月13日		○					○	○		○
9月14日		○					○	○		○
9月15日		○	○				○	○		○
9月16日		○	○					○		○
9月17日		○	○				○	○		○
9月18日										
9月19日										
9月20日										
9月21日		○						○		○
9月22日		○						○		○
9月23日										
9月24日		○						○		○
9月25日										
9月26日									●	
9月27日							○	○	○	○
9月28日							○	○	○	○
9月29日							○	○	○	○
9月30日							○	○	○	○
10月1日								○	○	○
10月2日									●	
10月3日									●	
10月4日	○							○	○	○
10月5日	○		○					○	○	○
10月6日	○		○					○	○	○
10月7日			○					○	○	○
10月8日			○					○	○	○

		C区分団体				
		K263	K316	K442	K621	K940
		京都フィルハーモニー室内合奏団	ミラマーレ・オペラ	劇団風の子九州	劇団ショーマンシップ	一般社団法人 京都能楽囃子方同明会
巡回ブロック		G/H/I/J	H/I/J	G/H/I/J	H/I/J	G/H/I/J
種目		オーケストラ等	音楽劇	児童劇	ミュージカル	歌舞伎・能楽
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし
10月9日	土		●			
10月10日	日		●			
10月11日	月		●			
10月12日	火	○	○		○	●
10月13日	水	○	○		○	○
10月14日	木	○	○		○	○
10月15日	金	○	○		○	○
10月16日	土		●			
10月17日	日		●			
10月18日	月		○			○
10月19日	火		○			○
10月20日	水		○			○
10月21日	木		○			●
10月22日	金		○			●
10月23日	土		●			
10月24日	日		●			
10月25日	月		○		○	○
10月26日	火		○		○	○
10月27日	水		○		○	○
10月28日	木		○		○	○
10月29日	金		○		○	●
10月30日	土		●			
10月31日	日					
11月1日	月	○			○	○
11月2日	火	○			○	○
11月3日	水					
11月4日	木	○			○	○
11月5日	金	○			○	○
11月6日	土					
11月7日	日					
11月8日	月	○			○	○
11月9日	火	○			○	○
11月10日	水	○			○	○
11月11日	木	○			○	○
11月12日	金	○			○	○
11月13日	土					
11月14日	日			●		
11月15日	月			○	○	○
11月16日	火			○	○	○
11月17日	水			○	○	○
11月18日	木			○	○	○
11月19日	金			○	○	○
11月20日	土					
11月21日	日		●			
11月22日	月	○	○	○	○	○
11月23日	火		●			
11月24日	水	○	○	○	○	○
11月25日	木	○	○	○	○	●
11月26日	金	○	○	○	○	●
11月27日	土		●			
11月28日	日		●			
11月29日	月	○	○	○	○	○
11月30日	火	○	○	○	○	○
12月1日	水	○	○	○	○	○
12月2日	木	○	○	○	○	●
12月3日	金	○	○	○	○	●
12月4日	土		●			
12月5日	日		●			
12月6日	月	○	○	○	○	○
12月7日	火	○	○	○	○	○
12月8日	水		○	○	○	○
12月9日	木		○	○	○	●
12月10日	金		○	○	○	●
12月11日	土		●			
12月12日	日		●			
12月13日	月		○	○	○	○
12月14日	火		○	○	○	○
12月15日	水		○	○	○	○
12月16日	木		○	○	○	●
12月17日	金		○	○	○	●
12月18日	土		●			
12月19日	日					
12月20日	月				○	○
12月21日	火				○	○
12月22日	水				○	○
12月23日	木				○	○
12月24日	金				○	○
12月25日	土					
12月26日	日					
12月27日	月				○	●
12月28日	火				○	●
12月29日	水				○	●
12月30日	木				○	●
12月31日	金				○	●
1月1日	土					
1月2日	日					
1月3日	月					
1月4日	火				○	●
1月5日	水				○	●
1月6日	木				○	●
1月7日	金				○	●
1月8日	土					
1月9日	日					
1月10日	月					
1月11日	火				○	○
1月12日	水				○	○
1月13日	木				○	○
1月14日	金				○	○
1月15日	土					
1月16日	日					
1月17日	月	○			○	○
1月18日	火	○			○	○
1月19日	水	○			○	○
1月20日	木	○			○	○
1月21日	金	○			○	○
1月22日	土					
1月23日	日					
1月24日	月				○	○
1月25日	火				○	○
1月26日	水				○	○
1月27日	木				○	○
1月28日	金				○	○
1月29日	土					
1月30日	日					
1月31日	月				○	○

	A・B区分団体									
	H207	H235	H1602	H407	H514	H708	H939	H1119	H1205	H1304
	日本センチュリー交響楽団	シエナ・ウインド・オーケストラ	神奈川フィルハーモニー管弦楽団	人形劇団むすび座	有限会社　劇団銅鑼	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団	公益社団法人 芸生会	邦楽グループ「玉手箱」	沖縄伝統組踊「子の会」	わんぱく寄席・学校寄席
巡回ブロック	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
種目	オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	演劇	バレエ	歌舞伎・能楽	邦楽	邦舞	演芸
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし	なし
10月9日									●	
10月10日										
10月11日										
10月12日		○					○	○		○
10月13日		○					○	○		○
10月14日		○						○		○
10月15日		○					○	○		○
10月16日										
10月17日									●	
10月18日		○						○	○	○
10月19日		○						○	○	○
10月20日		○						○	○	○
10月21日		○						○	○	○
10月22日		○						○	○	○
10月23日									●	
10月24日										
10月25日		○			○		○	○		
10月26日		○			○		○	○		
10月27日		○	○		○		○	○		
10月28日		○	○		○			○		
10月29日		○	○		○			○		
10月30日					○					
10月31日										
11月1日		○		○	○			○		
11月2日		○		○	○			○		
11月3日				○						
11月4日		○		○	○			○		
11月5日		○		○	○			○		
11月6日				○	○					
11月7日				○						
11月8日		○	○	○	○		○	○		○
11月9日		○	○	○	○		○	○		○
11月10日		○	○	○	○		○	○		○
11月11日		○	○	○	○		○	○		○
11月12日		○	○	○	○		○	○		○
11月13日				○	○					
11月14日				●						
11月15日	○		○		○		○	○		○
11月16日	○		○		○		○	○		○
11月17日	○		○		○		○	○		○
11月18日			○		○			○		○
11月19日			○		○		○	○		○
11月20日					○					
11月21日										
11月22日		○			○			○		○
11月23日										
11月24日		○		○	○		○	○		○
11月25日		○		○	○		○	○		○
11月26日				○	○		○	○		○
11月27日				○	○					
11月28日				○						
11月29日	○	○		○	○		○	○		○
11月30日	○	○	○	○	○		○	○		○
12月1日		○	○	○	○		○	○		○
12月2日		○	○	○	○		○	○		○
12月3日			○	○	○		○	○		○
12月4日				○	○					
12月5日				○						
12月6日		○		○			○	○		○
12月7日		○		○			○	○		○
12月8日		○		○			○	○		○
12月9日		○					○	○		○
12月10日		○					○	○		○
12月11日										
12月12日										
12月13日		○		○				○		○
12月14日		○		○				○		○
12月15日		○		○				○		○
12月16日		○		○				○		○
12月17日		○		●				○		○
12月18日										
12月19日										
12月20日		○					○	○		○
12月21日		○					○	○		○
12月22日		○					○	○		○
12月23日		○						○		○
12月24日		○						○		○
12月25日										
12月26日										
12月27日								○		○
12月28日								○		○
12月29日								○		○
12月30日								○		○
12月31日								○		○
1月1日										
1月2日										
1月3日										
1月4日								○		○
1月5日								○		○
1月6日		○						○		○
1月7日		○						○		○
1月8日										
1月9日										
1月10日										
1月11日		○					○	○		○
1月12日		○					○	○		○
1月13日								○		○
1月14日								○		○
1月15日										
1月16日									●	
1月17日		○					○	○	○	○
1月18日		○					○	○	○	○
1月19日		○					○	○	○	○
1月20日		○					○	○	○	○
1月21日		○					○	○	○	○
1月22日									●	
1月23日									●	
1月24日		○					○	○	○	○
1月25日		○					○	○	○	○
1月26日		○					○	○	○	○
1月27日		○					○	○	○	○
1月28日		○					○	○	○	○
1月29日									●	
1月30日										
1月31日		○					○	○		○

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に〇を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，〇を付してください。　　A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無（該当する方に〇を付してください。）　　あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに〇を付してください。）
（1）公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
（2）公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
（3）提案したいずれか1企画のみ実施可能
（4）その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん きょうとふぃるはーもにーしつないがっそうだん 特定非営利活動法人　京都フィルハーモニー室内合奏団		
代表者職・氏名	理事長　田中美幸		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒604-8135　京都市中京区東洞院通三条下る 三文字町 200 番地 ミックナカムラ 303 号室（京都市営地下鉄「烏丸御池」駅）		
電話番号	075-212-8275	FAX 番号	075-212-8277
ふりがな 公演団体名	きょうとふぃるはーもにーしつないがっそうだん 京都フィルハーモニー室内合奏団		
代表者職・氏名	理事長　田中美幸		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒604-8135　京都市中京区東洞院通三条下る 三文字町 200 番地 ミックナカムラ 303 号室（京都市営地下鉄「烏丸御池」駅）		
制作団体設立年月	1972 年　5 月		

<table>
<tr><th>制 作 団 体</th><th>役　職　員</th><th colspan="2">団体構成員及び加入条件等</th></tr>
<tr><td>組 織</td><td>理事長：田中美幸
副理事：西田二郎、内田双喜
理　事：木村守、深尾昌峰、小林明、内田義行、増永理彦</td><td colspan="2">正会員：田中美幸、松田学、木村守、深尾昌峰、小林明、越川雅之、森本真裕美、市川えり子、岸さやか、村井博之、内田義行、西田二郎、増永理彦、増永のり子、児玉幸子、中西京子、湊健太郎、内田双喜、立石文一、立石美佐子、安本昌美、村田真生、小林純子。
正会員加入条件：積極的に活動を推進する音楽家と、音楽に関心のある個人、総会における議決権を有する者</td></tr>
<tr><td>事務体制の担当</td><td>専任　・　他の業務と兼任</td><td>本事業担当者名</td><td>田中美幸</td></tr>
<tr><td>経理処理等の監査担当の有無</td><td>有　・　無</td><td>経理責任者名</td><td>湊健太郎</td></tr>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">1972年5月京都フィルハーモニー室内合奏団 創立。
1979年5月有限会社 京都フィルハーモニー室内合奏団 成立。
平成2年度 藤堂音楽賞受賞。
2000年1月特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団 認証。
2002年10月イタリアツアーで好評を博す。
平成14年度 京都新聞大賞文化学術賞受賞。
2006年から社団法人 日本オーケストラ連盟準会員。
2012年5月創立40年を迎える。
2015年度第3回ウィーンフィル&サントリー音楽復興祈念賞受賞
2016年度 佐川吉男音楽賞奨励賞受賞。
2017 年 5 月創立 45 年を迎える。
2014年4月～2019年9月音楽監督に齊藤一郎を迎える。
2020 年 4 月ミュージックパートナーに柳澤寿男を迎える</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">1972年創立以来、小学校公演延べ3000校、約190万人の生徒が鑑賞。
2003年度から毎年、京都コンサートホールでファミリーコンサートを主催
（年3回。5月、7月、12月）。
18年間、佐賀県唐津市肥前町で「早春コンサート」を継続実施（毎年2月）。
関西公共ホールにて0歳児からのコンサートを毎年、多数実施。
京都府内および京都市内小学校で多数公演。
2014年伊丹市立小学校全校を巡回公演（17校）。
2012年、2014年、鳥取県内小学校にて巡回公演（10校）。
2012年度より毎年京都府「次世代文化継承・発展」事業に参加。ワークショップを展開
（3回×4校）。
2014年2016年2018年福井県全県小学生音楽鑑賞会実施
（セントラル愛知交響楽団との合同演奏）
2018年度滋賀県栗東市全小学校音楽鑑賞会実施。
毎年京都府内3～4ケ所の支援学校で鑑賞会を実施。
長岡京市、京都市で中学校吹奏楽部のクリニックを実施。
平成30年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業「和歌山県、三重県地方の子どものための舞台芸術による地域交流の場づくりと巡回公演」</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">毎年、中丹支援学校、丹波支援学校、八幡支援学校、向日が丘支援学校、城陽支援学校（いずれも京都府立）にて公演およびワークショップを実施。文化庁巡回公演でも各地支援学校で演奏。</td></tr>
</table>

考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合限定公開 URL 前半 後半	https://www.youtube.com/watch?v=aSxKjxhsVek&feature=youtu.be https://www.youtube.com/watch?v=-zrJ6ZPgUeQ&feature=youtu.be

公　演　・　ワークショップの内　容　　【公演団体名　京都フィルハーモニー室内合奏団　】

対　　象		小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中 学 生				
企画名		夢いっぱいコンサート				
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付		■ウイリアム・テル序曲より「スイス軍の行進」/ロッシーニ作曲（4分） ■楽器の紹介（８分） ■ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ作曲（4分） ■ ずいずいずっころばし/童謡(木管五重奏) （4分） ■ 人形の歌～オペラ「ホフマン物語」より（歌）/オッフェンバック作曲（4分） ■「アルルの女」よりメヌエット、ファランドール/ビゼー 作曲（７分） ～休憩～（15分） ■【ご希望の合唱曲でオーケストラと共演しよう！】（4分） ■【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】（4分） ■ ポストホルンギャロップ/ ケーニッヒ作曲（4分） ■ 交響詩「魔法使いの弟子」(ナレーション付)/デュカス作曲（15分） ■ コンサート後、弦楽器体験or質問コーナー。 公演時間（コンサート：休憩を含み90分＋弦楽器体験15分）				
	著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要	■ウイリアム・テル序曲より「スイス軍の行進」/ロッシーニ スイスの英雄ウイリアム・テルは悪代官に捕まるが、息子の頭の上のリンゴを見事矢で打ち抜き、身の潔白を計る物語です。当時ロッシーニはベートーヴェンより人気がある作曲家でした。この「スイス軍の行進」は特に有名で、コマーシャルなどにもよく使われています。 ■楽器の紹介 オーケストラの中のたくさんの楽器を一つずつ聴いていきます。各楽器の音色、形、名前、特徴を覚えましょう。 ■ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ バロック時代の巨匠ヴィヴァルディが孤児院の女学生のために書いた協奏曲です。この曲にはソネット（詩）が添えられていて、一種の描写音楽になっています。春が来て小鳥が鳴き、嵐もやって来ます。 ■ずいずいずっころばし/童謡(木管五重奏＋打楽器) 日本に古くから伝わっている子供の遊び歌を木管五重奏等管楽器と打楽器のみに編曲して演奏します。各楽器の音色の違いを聴き分けましょう。 ■人形の歌～オペラ「ホフマン物語」より（歌）/オッフェンバック オペラ、オペレッタの作曲家としてフランスで人気を博したオッフェンバクの楽しい曲です。題名の通り人形の真似をして歌います。途中で面白いことが起こります。 「アルルの女」よりメヌエット、ファランドール/ビゼー オペラ「カルメン」の作曲で有名なビゼーの付随音楽です。特にメヌエットが通名です。またファランドールではフランスの民謡が使用されています。 ～休憩～ 【合唱でオーケストラと共演！　ご希望の合唱曲でオーケストラと共演しましょう】 1）ご希望の合唱曲をオーケストラ伴奏で歌いましょう。

	2）もし希望があればボディーパーカッションでも可能。 「風になりたい」を打楽器奏者の指導で、体を打楽器にして共演しましょう。 【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】 日頃ピアノ伴奏で歌っているあなたの学校の校歌をオーケストラの伴奏で歌ってみましょう。 ポストホルンギャロップ/ ケーニッヒ作曲 （ポストホルンとホウキのラッパでの演奏） ポストホルンとは昔、郵便が来たことを伝えるための郵便配達の人がならした楽器です。そしてもう一つの楽器はホウキ？楽器？聴いてのお楽しみです。 交響詩「魔法使いの弟子」(ナレーション付)/デュカス 魔法使いが留守の間に、弟子が習いたての魔法を使ってホウキに風呂の水を汲みに行かすが、止めかたがわからず溢れてしまいます。そこへ魔法使いが帰ってくる、という話を音楽にしています。京フィルオリジナルの絵本を映写しながら聴きましょう。 子どもたちが絵を描いても可能です。 ■ コンサート後、弦楽器体験 or 質問コーナー。
演目選択理由	前半＝オーケストオラの各楽器を紹介して、オーケストラに興味を持ってもらう導入をします。 またどこかで聴いた名曲、日本の曲、歌の曲など退屈することなく、 楽しくオーケストラ入門ができます。 後半＝児童との共演がメインです。ワークショップで習ったことを本番で その力を発揮しましょう。そしてオーケストラ伴奏で校歌を歌うのは感動 的です。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	1）学校の希望合唱曲で合唱とオーケストラの共演を実現します。 2）オーケストラ伴奏での校歌斉唱。 3）アンコールのラデツキー行進曲において、児童の手拍子の参加。 4）公演終了後に、児童対象に弦楽器を体験してもらいます。 （状況により質問コーナーに変更します）

<table>
<tr><td>出　　演　　者</td><td colspan="3">第一ヴァイオリン：角田博之、森本真裕美、第二ヴァイオリン：青山朋永、ヴィオラ：馬場順子、チェロ：石豊久、コントラバス：上野泰歳、フルート：市川えり子、オーボエ：岸さやか、クラリネット：松田学、ファゴット：田中由美子、ホルン：山本愛沙子、トランペット：山崎恒太郎、トロンボーン：村井博之、打楽器：越川雅之、歌：山田知加
計 15 名</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者: 15 名
スタッフ: 3 名
合　　計: 18 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　2 t
車 長　6.5m
台 数　1 台</td></tr>
</table>

公　演　・　ワークショップの内　容　　【公演団体名　京都フィルハーモニー室内合奏団】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中　学　生
企画名	夢いっぱいコンサート
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	■ウイリアムテル序曲より「スイス軍の行進」/ロッシーニ（4分） ■楽器の紹介（8分） ■ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ（4分） ■ 人形の歌～オペラ「ホフマン物語」より（歌）/オッフェンバック（5分） ■ 管弦楽組曲第二番よりバディネリ（フルート）/バッハ（2分） ■ 七重奏曲より第一楽章/ベートーヴェン（9分） ■ ハンガリア舞曲第五番/ブラームス（4分） ～休憩～（15分） ■【共演 合唱】（5分） ■【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】（4分） ■ 76本のトロンボーン/ウィルソン（4分） ■ 虹の彼方に（歌）/アーレン（4分） ■ コンサート後質問コーナー 公演時間（コンサート：休憩を含み 90 分＋弦楽器体験 15 分）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要	■ウイリアム・テル序曲より「スイス軍の行進」/ロッシーニ スイスの英雄ウイリアム・テルは悪代官に捕まるが、息子の頭の上のリンゴを見事矢で打ち抜き、身の潔白を計る物語です。当時ロッシーニはベートーヴェンより人気がある作曲家でした。この「スイス軍の行進」は特に有名で、コマーシャルなどにもよく使われています。 ■楽器の紹介 オーケストラの中のたくさんの楽器を一つずつ聴いていきます。各楽器の音色、形、名前、特徴を覚えましょう。 ■ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ バロック時代の巨匠ヴィヴァルディが孤児院の女学生のために書いた協奏曲です。 この曲にはソネット（詩）が添えられていて、一種の描写音楽になっています。春が来て小鳥が鳴き、嵐もやって来ます。 ■人形の歌～オペラ「ホフマン物語」より（歌）/オッフェンバック オペラ、オペレッタの作曲家としてフランスで人気を博したオッフェンバクの楽しい曲です。題名の通り人形の真似をして歌います。途中で面白いことが起こります。 ■管弦楽組曲第二番より「バディネリ」（フルート）/バッハ バロック時代の巨匠バッハが作曲したフルート独奏の曲です。バディネリとは「冗談」とか「踊る」、「からかい」などの意味です。18世紀における組曲中の、軽快で速い2拍子の楽章につけられた名称です。 ■七重奏曲より第一楽章/ベートーヴェン ベートーヴェンが若い頃に作曲した娯楽音楽です。当時は七名で演奏するスタイルが流行していました。この曲は大変人気があり繰り返し演奏されていました。 ■ ハンガリア舞曲第五番/ブラームス

	ブラームスは若い頃にハンガリーを旅して民謡を採取し、このハンガリア舞曲集を発表しました。中でもこの第五番は一番人気があります。 ~休憩~ ■【共演 合唱】 1）ご希望の合唱曲をオーケストラ伴奏で歌いましょう。 2）もし希望があればボディーパーカッションでも可能。 「風になりたい」を打楽器奏者の指導で、体を打楽器にして共演しましょう。 ■【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】 日頃ピアノ伴奏で歌っているあなたの学校の校歌をオーケストラの伴奏で歌ってみましょう。 ■76本のトロンボーン/ウィルソン 大変勇壮な音色が特徴的なトロンボーンを聴いてみましょう。特にこの楽器は楽器の管を伸び縮みさせて音程を変えるところが特徴で、大変古い起源を持つ楽器です。 ■虹の彼方に（歌）/アーレン 1939年に公開されたミュージカル映画「オズの魔法使い」の中の一曲です。 「虹の彼方に夢の国がある･･･」と歌います。 ■ コンサート後、質問コーナー。
演目選択理由	前半＝オーケストオラの各楽器を紹介して、オーケストラに興味を持ってもらう導入をします。またどこかで聴いた名曲、日本の曲、歌の曲など退屈することなく、楽しくオーケストラ入門ができます。 後半＝生徒との共演がメインです。ワークショップで習ったことを本番でその力を発揮しましょう。そしてオーケストラ伴奏で校歌を歌うのは感動的です。

<table>
<tr><td>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</td><td colspan="3">1）学校の希望合唱曲で合唱と共演。または
「風になって」を使用してボディパーカッションで共演
2）オーケストラ伴奏での校歌斉唱。
3）アンコールのラデツキー行進曲において、生徒の手拍子の参加。
4）公演終了後に、質問コーナーで楽器や演奏など気になる事を質問する時間を設ける</td></tr>
<tr><td>出　演　者</td><td colspan="3">第一ヴァイオリン：角田博之、森本真裕美、第二ヴァイオリン：青山朋永、ヴィオラ：馬場順子、チェロ：石豊久、コントラバス：上野泰歳、フルート：市川えり子、オーボエ：岸さやか、クラリネット：松田学、ファゴット：田中由美子、ホルン：山本愛沙子、トランペット：山崎恒太郎、トロンボーン：村井博之、打楽器：越川雅之、歌：山田知加
計15名</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出　演　者：　15名
スタッフ：　3名
合　　計：　18名</td><td>機材等
運搬方法</td><td>積載量　2 t
車　長　6.5m
台　数　1台</td></tr>
</table>

Ａ区分・Ｂ区分・Ｃ区分共通

№3(実演芸術)

【公演団体名京都フィルハーモニー室内合奏団　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み（ 有 ・ 無 ） 会場設営の所要時間（　　時間程度　）
<table><tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr><tr><td>9 時</td><td>セッティング 9:00～10:00
リハーサル　11:00</td><td>13:30～15:00
弦楽器体験/小（質問コーナー/中）
15:00～15:15</td><td>15 分</td><td>15 時 15 分～16 時</td><td>16 時</td></tr></table>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ　150 名ぐらいまで
本公演　500 名ぐらいまで</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>・歌手1名、ピアニスト1名、司会兼スタッフ1名の計3名を派遣する。
・ワークショップの最初に、京フィルメンバーによるミニコンサートを実施する。
・本公演に向けて、発声、合唱練習を行う。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>プロ演奏者の的確な指導とアドヴァイスで児童、生徒たちの演奏レベル、並びに感受性の向上を図る。歌うことの楽しさ、和音の美しさ、全員で力を合わせて曲を完成さす喜びを指導する。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>各学校に合った進行を綿密な打ち合わせをもとに、児童生徒一人一人の実情や到達点に合わせた工夫をおこないます。
過去、本事業において、ヴァイオリン体験＆共演をおこなった実績があります。
本公演は、演奏時間を短縮し、休憩時間を取らないで、子どもたちの体調に合わせて、トイレ休憩など途中で出入りをしてもらう事を可能としております。
午前中が希望の場合、対応します。その際は前日から搬入セッテングをさせていただきます</td></tr>
<tr><td>実施可能時期
◇はＢ区分申請団体のみ</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

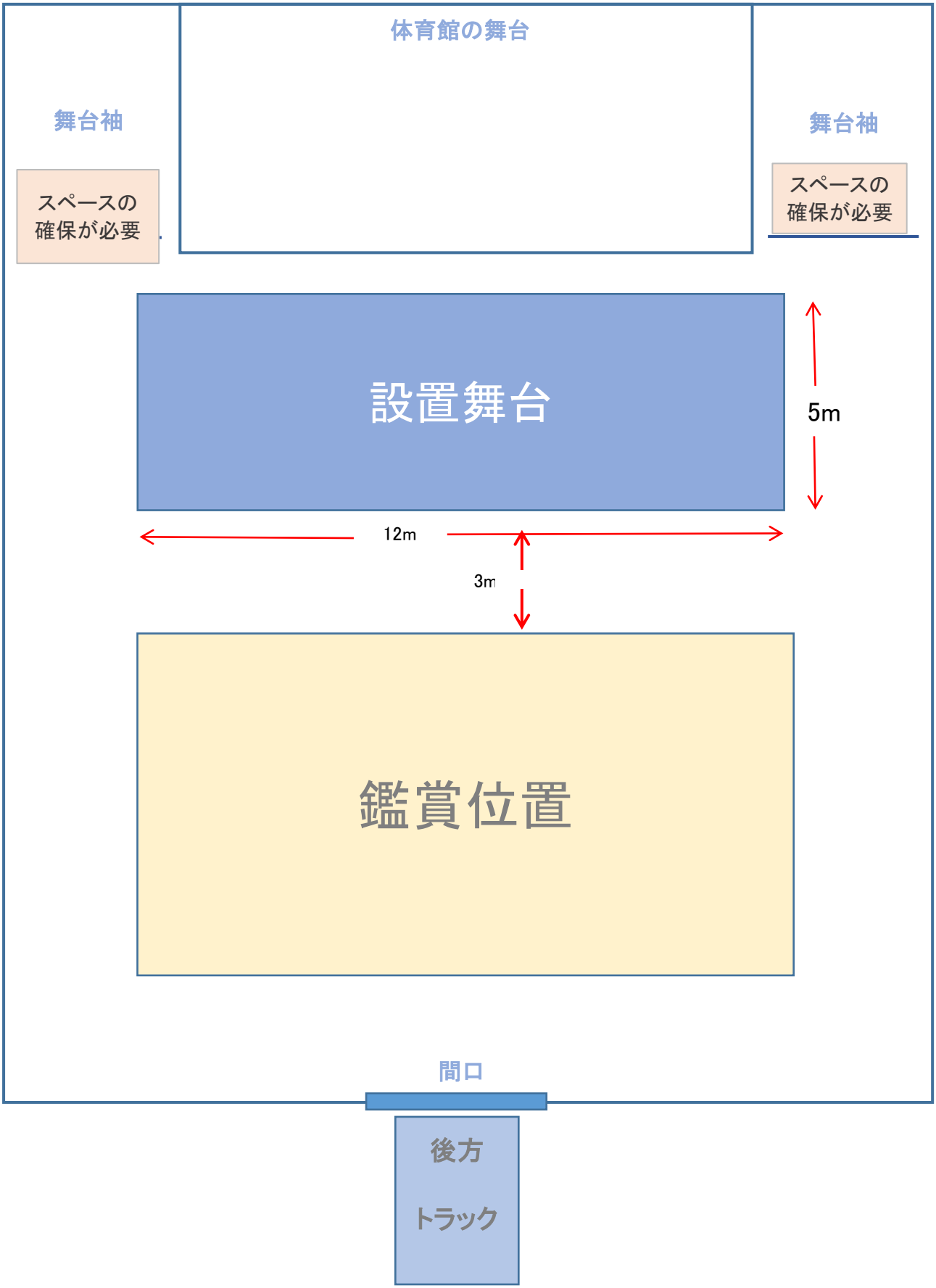
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	263	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	C区分
公演団体名	京都フィルハーモニー室内合奏団				制作団体名	特定非営利活動法人　京都フィルハーモニー室内合奏団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	3室	条件	コンサートマスター1室，男性1室，女性1室（着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です）			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台	大型バス　1台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック（幅3m、長さ7m）			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内			
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。			
		理由			平台やティンパニなどを搬入するため。			
	可	設置階の制限＊			お手伝いをお願いする可能性もあります			
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		150名程度まで				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		90分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		演奏フロアー＋児童が座れる人数で約500名まで可能				
	不可	舞台設置場所＊		フロア				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	12n	奥行	5m	高さ	指定なし
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要			
	可		舞台袖スペースの条件＊		できる限り荷物がない様にお願いします。			
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要		
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		使用しない	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	―		ピアノの事前調律＊		使用しない			
	不可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可			
	不可	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業　C区分

京都フィルハーモニー室内合奏団

京フィル　検索

小学校・中学校
夢いっぱいコンサート

古都京都に誕生して48年。子供たちを魅了する室内オーケストラとして「京フィル」の愛称で親しまれています。「あ～楽しかった！また聴きたい！」という、子供たちの声援から生まれた熱気溢れたコンサートをお届けします。

＜京フィルの魅力＞
◆その一・・・
子供と音楽が大好きな
メンバーばかり

◆その二・・・
楽しい名曲の数々

◆その三・・・
オーケストラと共演！

小学校公演の「魔法使いの弟子」ではスクリーンを使用して、絵本付きで演奏します。

これは楽器？？？

校歌は先生の指揮で歌いましょう！

管楽器のみで楽しい演奏

＜小学校＞
- ■ウイリアムテル序曲より「スイス軍の行進」
- ■楽器の紹介
- ■ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章
- ■ ずいずいずっころばし/童謡(木管五重奏)
- ■ 人形の歌～オペラ「ホフマン物語」より（歌）
- ■ 「アルルの女」よりメヌエット、ファランドール
- ■ ～休憩～
- ■ 【共演 合唱orボディーパーカッション】
- ■ 【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】
- ■ ポストホルンギャロップ/ ケーニッヒ作曲
- ■ 交響詩「魔法使いの弟子」(ナレーション付)
- ■ コンサート後、弦楽器体験or質問コーナー。

＜中学校＞
- ■ウイリアムテル序曲より「スイス軍の行進」
- ■楽器の紹介
- ■ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章
- ■ 人形の歌～オペラ「ホフマン物語」より（歌）
- ■ 管弦楽組曲よりバディネリ（フルート）
- ■ ベートーヴェンの七重奏曲より第一楽章
- ■ ハンガリア舞曲第五番
- ■ ～休憩～
- ■ 【共演 合唱orボディーパーカッション】
- ■ 【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】
- ■ 76本のトロンボーン
- ■ 虹の彼方に（歌）
- ■ コンサート後質問コーナー

＜僻地公演＞
- ■ラモーのタンブーラン
- ■楽器の紹介
- ■ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章
- ■ 3つの小品より / イベール(木管五重奏)
- ■ 私のお父さん～オペラ「ジャンニ・スキッキ」より（歌）
- ■ 76本のトロンボーン
- ■ ～休憩～
- ■ 線路は続くよどこまでも
- ■ ドヴォルザーク / 弦楽四重奏曲「アメリカ」より
- ■ ヴァイオリン体験コーナー
- ■ 【共演 合唱orボディーパーカッション】
- ■ 【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】
- ■ からたちの花（歌）
- ■ 「アルルの女」よりファランドール
- ■ コンサート後、弦楽器体験or質問コーナー

特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
〒604-8135 京都市中京区東洞院通三条下る三文字町200　ミックナカムラ303
☎075-212-8275　FAX075-212-8277　office@kyophil.com

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に〇を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，〇を付してください。　　Ａ区分のみ　・　Ａ区分とB区分の両方　・　Ｃ区分

複数申請の有無（該当する方に〇を付してください。）　　あ り　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに〇を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	えぬぴーおーほうじんみらまーれ・おぺら NPO 法人ミラマーレ・オペラ		
代表者職・氏名	代表理事　松山郁雄		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒223-0053 神奈川県横浜市港北区綱島西 2-2-12 プリオール綱島弐番館 503 （東急東横線　綱島駅）		
電話番号	045-530-8350	ＦＡＸ番号	045-530-8351
ふりがな 公演団体名	みうらまーれ・おぺら ミラマーレ・オペラ		
代表者職・氏名	松山郁雄		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒223-0053 神奈川県横浜市港北区綱島西 2-2-12 プリオール綱島弐番館 503 （東急東横線　綱島駅）		
制作団体設立年月	2008 年 10 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事　松山郁雄 **理事　樋本英一** **理事　馬場紀雄** **監事　米村桐子**	**指揮者、演出家、ピアニストおよびオペラを専門とする歌手と舞台スタッフである事。歌手は企画毎にキャスティング・オーディションにより採用。条件は、音楽の専門教育課程を経た上で、充分な実力と経験を持ち、自分の満足感達成のためではなく聴衆のための演奏姿勢を常に持つ事のできる事。**	
事務体制の担当	専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	**松山郁雄**

<table>
<tr><td>経理処理等の
監査担当の有無</td><td colspan="2">(有)　・　無</td><td>経理責任者名</td><td>米村桐子</td></tr>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="4">平成 18 年 1 月 19 日 有限会社ミラマーレ・ムジカを設立。
平成 20 年 10 月 15 日 NPO 法人ミラマーレ・オペラに組織変更。現在に至る。
平成 24 年度より令和元年度まで京都芸術劇場春秋座においてオペラ制作業務を受託。
平成 27 年度より本事業の採択を得て現在に至る。</td></tr>
<tr><td>学校等における
公演実績</td><td colspan="4">平成 17 年　東京都江東区立東陽小学校でオペラ「愛の妙薬」日本語訳詞上演。
平成 22 年　長野県北信地区高校音楽鑑賞会でオペラ「愛の妙薬」日本語訳詞上演。
平成 27 年度、本事業に初採択。F ブロックで 8 校の中学校でオペラ「てかがみ」を上演。
平成 28 年度、本事業に採択。H ブロック 10 校の小中学校でオペラ「てかがみ」を上演。
平成 28 年 11 月 28 日 君津市市民文化ホールにおいて翔凜中学高等学校の芸術鑑賞会を開催。「椿姫」と「愛の妙薬」の悲喜劇の 2 作品のハイライトを上演。
平成 29 年 8 月 24 日　北海道幌泉群えりも町立えりも中学校において芸術鑑賞会を開催。「椿姫」と「愛の妙薬」のハイライトと名曲コンサートを上演。
平成 29 年度、本事業に採択。A ブロック 12 校の小中学校でオペラ「てかがみ」を上演。
平成 30 年 2 月 15 日 春日部市民文化会館において春日部共栄中学高等学校の音楽鑑賞会として G・ビゼー作曲のオペラ「カルメン」を上演。
平成 30 年度、本事業に採択。I ブロック 14 校の小中学校でオペラ「てかがみ」を上演。
令和元年度、本事業に採択。F ブロック 10 校の小中学校でオペラ「てかがみ」を上演。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="4">特別支援学校における単独公演の実績はありませんが、昨年度までのＡ区分「てかがみ」公演においては特別支援の生徒さん達にも問題なく積極的な参加をして頂いております。車椅子の生徒さんの参加につきましても問題はございません。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">参考資料の
有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>有　・　(無)</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>(有)　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>↑DVD は郵送にて</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:ナシ
PW:ナシ</td></tr>
<tr><td>A の
提出が</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td rowspan="2">困難な
場合</td><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内容　　【公演団体名 ミラマーレ・オペラ】

対　　象	~~小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）~~ ・ 中 学 生
企画名	オペラ「おこんじょうるり」 命と呼びかけの大切さを知るために
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	オペラ「おこんじょうるり」 作曲：林光 原作：さねとうあきら 台本：若林一郎 演出：三浦安浩 振付：三浦奈綾 公演時間（凡そ 70 分）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要	わが国を代表する作曲家である林光が、さねとうあきらの原作(1974)、若林一郎の台本により作曲した 1 幕のオペラです。1974 年に初演されています。 登場人物はおこん（ソプラノ）ばばさま（アルト）ごんすけ（テノール）じんざ（バリトン）の 4 人の歌手です。 人里離れた山奥に一人で住む盲目のイタコの老婆と、そこへ食べ物を盗みに来た 1 匹の子ぎつねの心の交流と、欲に目がくらんだ人間の愚かさを描いた佳作です。
演 目 選 択 理 由	国際化が進む現代社会では人種や文化の違いによる問題が世界規模で多発しています。また貧富の差は我が国においてもますます広がる傾向にあり、その問題は学校内のいじめなど様々な形で顕在化していると思われます。 「おこんじょうるり」は目の不自由な老婆が子ぎつねに愛情を注ぐようになる過程を通し、私たちが、もっと外見にとらわれずに他人に接してゆくことによって、多くの人と気持ちを通じ合わせることができる事を伝えられる作品です。 また、物語の終盤で子ぎつねのおこんが無惨にも殺されてしまいますが、それを目の当たりにした猟師が、もう生き物を殺す決してしないと誓う感動のフィナーレでは命の大切さを伝えることができます。 オペラを歌芝居として、言葉を伝えることの重要性を訴え続けた作曲家林光の意図が反映された作品であり、人間の肉声の素晴らしい美しさを伝えると同時に、ドラマを明快に伝えることができる優れた作品です。 オペラと言うとイタリアやドイツが本場の海外の芸術作品と思われがちですが、日本にも素晴らしい晴作品が数多くあります。 優れた「メイド・イン・ジャパンのオペラ」に触れて頂き、磨き抜かれ朗々と響くオペラ歌手のマイクを通さない生の歌声、そして日本語で歌われるこの作品を是非とも味わって頂きたいと願っています。

＜演出ノートから＞
呼びかけ と 答え

演出家　三浦安浩

このオペラにはなんと多くの「呼びかけ」があることでしょう。そしてそれに対する「答え」もまた数多くあります。

お腹をすかせた狐のおこんは山の中の一軒家へやってきて、その家に一人で住むばばさまの食べ物を盗もうとします。おこんは、目の見えないばばさまが「きつね」と自分の正体を言い当てるので驚きます。ばばさまは、おこんが不思議な力で腰痛を直してくれたことに感謝しておこんと手を取り合います。ばばさまは現実の世界を目で見ることはできませんが、それは物事の真実を見極められないということではありません。むしろ、彼女の「心」の判断力は研ぎ澄まされているのです。おこんとばばさまは親しみを込めて「ばばさま」「おこん」と呼び合い、そこには人間と動物というカテゴリーの違いを超えた愛が生まれます。

そこで、少し考えてみたいと思います。私たちは、誰にどのように呼びかけられ、そしてその呼びかけにどのように答えているのでしょうか。誰かの思いのこもった呼びかけに「不安」のフィルターをかけてしまい、その呼びかけの中にある愛を見過ごしていることはないでしょうか。そして「不安」や「憎悪」の思いで誰かの名前を呼んでいることはないでしょうか。呼びかけには力があるのです。国籍、人種、文化、宗教、性の違いが多くの対立を生んでいる現代、私たちはこの世の中にあるたくさんの切実な呼びかけに心を開かなければならないと思います。できるだけたくさんの愛のこもった呼びかけをしようではありませんか。そうすれば、私たちの心に、きっとおこんのような新しい仲間たちからの声が遠くから聞こえてくるに違いないと思うのです。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	1. 開演前に身体を使った声の出し方などのレクチャーを伴ったミニコンサートを行い、歌う事を身近に感じてもらいます。 2. 子ぎつね役としての出演や、村人役として老婆が行うまじないの奇跡的な効果に驚く人々を演じてもらいます。 3. 希望があれば終演後には希望する生徒さんと数人のキャスト代表との交流会も行います（感染防止対策には万全の対策を講じます）。
出　演　者	おこん：山口なな ばばさま：片岡美里 じんざ：大島嘉仁 ごんすけ：竹内篤志 ピアノ：経種美和子 打楽器：竹内美乃莉

公演出演予定者数（1公演あたり）	出 演 者：　6名 スタッフ：　9名 合　計：　15名	機材等運搬方法	積載量　2t 車 長　5m 台 数　1台

【公演団体名　ミラマーレ・オペラ】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み（ 有 ・ (無) ） 会場設営の所要時間(2 時間程度 ）
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込みとリハーサル</td><td>本公演</td><td></td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>8 時</td><td>8 時～11 時 30 分</td><td>13 時 30 分～15 時</td><td></td><td>10 分</td><td>15 時～17 時</td><td>17 時30 分</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ：3 人から 10 人程度（本公演に参加しない生徒さんの見学も可能です）
本公演：全校生徒数に準ずる（300 人程度まで）</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>主指導者、歌手 2 名、ピアニストで行います。体育館の設営されたアクティングエリアを使用し、凡そ 1 時間でミニ・コンサートと「おこんじょうるり」の概要説明とリハーサルを兼ねての体験実習をします。
＜内容＞
1. 指導者紹介の後、生の歌声とピアノの演奏でミニ・コンサート。オペラ歌手が児童生徒の間近で有名なオペラ・アリアなどを歌います。その後、発声と表現法のワンポイント・レッスンから歌唱指導へ繋げます。
2. オペラ「おこんじょうるり」の内容説明と、児童生徒の役どころと登場シーンの説明をします。
3. 登場シーンを一連の流れで練習し、キャストと一緒に行う最終リハーサルに結びつくように締めくくります。
4. 事前の遠隔によるレクチャーも考慮しております。
 </td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>1. オペラというマイクを使わない声楽形態である事を知ってもらい、全身を使った発声方法や歌唱指導によって、それを体感してもらう。
2. 舞台上の登場人物としてリアクションなどをどのように行えば、観ている人達にその効果を伝えられるかを指導し、実際に体験してもらう。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>基本的に全ての生徒登場シーンで同じように参加して頂く事が可能です。その他としては下記の 2 点です。
1. 短く簡単なセリフを言ってもらいます。（タイミングはキャストが指示します）
2. 客席から歌やセリフで呼びかけます。（タイミングはキャストが指示します）</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

オペラ「おこんじょうるり」出演予定メンバー表

	役名/役職	氏名	所属
No.01	おこん	赤星啓子	東京二期会
No.02		山口なな	藤原歌劇団
No.03	ばばさま	杣友恵子	東京二期会
No.04		片岡美里	藤原歌劇団
No.05	じんざ	松山いくお	NPO法人ミラマーレ・オペラ
No.06		大島嘉仁	フリー
No.07	ごんすけ	竹内篤志	フリー
No.08		川出康平	フリー

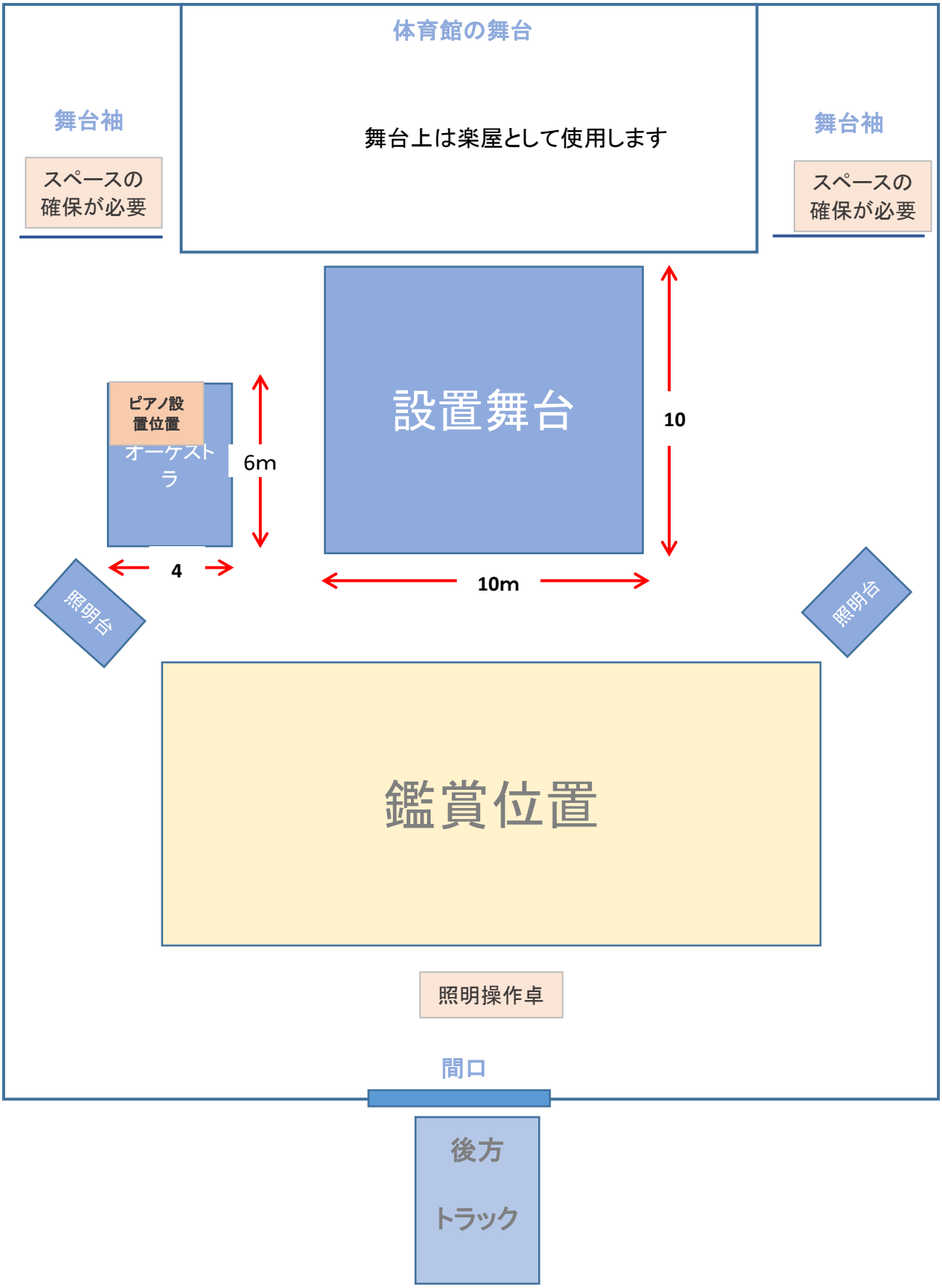
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	316	分野	音楽	種目	音楽劇	ブロック		区分	C区分
公演団体名	ミラマーレ・オペラ				制作団体名	特定非営利活動法人　ミラマーレ・オペラ			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	1室	条件	カーテンが締まり、飲食が可能な部屋を希望			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2トントラック1台			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない			
	可	搬入経路の最低条件			なるべく段差かなく台車が使える事			
		理由			重量のある機材、道具の搬入のため			
	可	設置階の制限＊			問わない			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		2人～10人以内で調整が可能（全生徒の見学は可能）				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		80分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		体育館フロアの半分程度の面積を目安として、最大200人程度				
	可	舞台設置場所＊		ステージ前のフロア（体育館ステージは楽屋として使用）				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	10m	奥行	10m	高さ	指定なし
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要			
	可		舞台袖スペースの条件＊		物が片付けられている事			
	可		緞帳＊	要	バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	照明の効果を最大限に活かすため		
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	可		ピアノの事前調律＊		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量		70A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							
	可	ステージ上にピアノがある場合は携行するキーボードを使用します						
	可	パイプ椅子、長テーブル等の備品を数点お借りいたします						

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	導線が確保できれば問題ありません			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　Ａ区分のみ　・　Ａ区分とB区分の両方　・　Ｃ区分

複数申請の有無（該当する方に○を付してください。）　　あ り　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに○を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	きぎょうくみあいげきだんかぜのこきゅうしゅう 企業組合劇団風の子九州		
代表者職・氏名	代表理事　仮屋　祐一		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒814-0002　福岡県福岡市早良区西新５丁目 5-13 （最寄駅・・・・福岡市営地下鉄空港線　西新駅）		
電話番号	092-841-7889	ＦＡＸ番号	092-841-7896
ふりがな 公演団体名	げきだんかぜのこきゅうしゅう 劇団風の子九州		
代表者職・氏名	代表　仮屋　祐一		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒814-0002　福岡県福岡市早良区西新５丁目 5-13 （最寄駅・・・・福岡市営地下鉄空港線　西新駅）		
制作団体 設立年月	1985 年　4 月		
制作団体 組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事　仮屋祐一 理　　事　浅野由美子 理　　事　川島二郎 理　　事　中嶌　司 監　　事　矢野ひとみ	【創造部・・・12 名】 浅野由美子、川島二郎、中嶌　司、小池勇治、玉木聡美、岩永ひろこ、小山　隼、髙山洋輝、浦　美佳、寺﨑花絵、稲永清音、寺尾実里 【企画経営部・・・5 名】 仮屋祐一、鈴木恵美、矢野ひとみ、田川智士、村垣洋子 加入条件等・・・18 歳以上の健康な人 （面接・オーディションあり）	
事務体制の担当	専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	仮屋　祐一

<table>
<tr><td>経理処理等の
監査担当の有無</td><td colspan="2">有 ・ 無</td><td>経理責任者名</td><td>鈴木 恵美</td></tr>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="4">企業組合劇団風の子九州は、1985 年東京の劇団風の子から運営独立し「劇団風の子九州班」として福岡市に創立され、その後 1993 年に法人独立し現在に至る。
児童・青少年演劇の制作と上演・普及活動を行っている。</td></tr>
<tr><td>学校等における
公演実績</td><td colspan="4">【2019 年度公演実績】
小学校公演 ： 5作品161日 210ステージ
幼稚園・保育園公演 ： 7作品123日 131ステージ
子ども劇場公演 ： 8作品34日 41ステージ
その他(行政、学童保育、児童館、自主公演等) ： 11作品134日 141ステージ
計 523ステージ</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="4">【福岡県】福岡中央特別支援学校、南福岡特別支援学校、福岡県立特別支援学校北九州高等学園、嘉穂特別支援学校、
【長崎県】鶴南特別支援学校、大村特別支援学校
【宮崎県】みなみのかぜ支援学校、赤江まつばら支援学校、清武せいりゅう特別支援学校、くろしお支援学校、児湯るぴなす支援学校、みやざき中央支援学校
【長崎県】川棚特別支援学校、希望ヶ丘高校特別支援学校、諫早東特別支援学校、諫早特別支援学校、島原特別支援学校、大村特別支援学校、鶴南特別支援学校
【沖縄県】島尻特別支援学校、宮古特別支援学校
【福島県】大笹生支援学校
ほか公演実績多数</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の
有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td colspan="2">有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td colspan="2">有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td colspan="2">DVDを提出します。</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td colspan="2">ID: なし
PW: なし</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の
提出が
困難な
場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td colspan="2">有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td colspan="2">ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　劇団風の子九州　】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	「あっかんべー！」は勇気の言葉 （「やだ、やだ あっかんべー！」公演）
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	やだ、やだ あっかんべー！ 作・演出 ／ あさのゆみこ　　音楽・効果 ／ 曲尾友克 美術 ／ あさのゆみこ 公演時間（ 75 分）

著作権	―	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要

【あ ら す じ】

山あいに住む一人暮らしのおばあちゃんの家に引っ越してきた内気な小学 4 年生の智（とも）。しかし智は本当は引越してきたくありませんでした。すごい田舎だし、お化けみたいなおばあちゃんはいるし…。

ある日、智がおばあちゃんの家を探検しているとどこからか声が聞こえてきました。おばあちゃんの独り言かなと思っていたら…!? 泥棒？おばけ？実はおばあちゃんの家には妖怪あまのじゃくのジャクが同居していました。

智と友達になったジャクですが、なんだか段々弱ってきました。その原因は裏山の開発とそこに住まう妖怪土蜘蛛が関係していました。智はジャクを救うために裏山へ走り出しました。はてさて、智はジャクを無事救うことができるのか？

【作品への思い】

かつて子供たちは群れて遊びを生み出し、人と人との関係も遊びの中で学び、ごく自然に身につけていったように思います。それは正に生きていく力を蓄える大切な時間。

しかし今、その大切な時間を持ちにくい社会へとますます拍車が掛けられて来ているように感じます。そしてその影響は自己肯定感の低い、心の不安定な子供たちを生み出しています。

都会での生活を送ってきた「やだやだ」が口癖、何をやってもダメと思っているこの物語の主人公・智。智は物凄い田舎に引越してきて、おばあちゃんや妖怪たちとの出会い、自然の中の生活体験を通して少しずつ強い心が育まれていきます。そしてとうとう、友だちジャクの角を取り戻すために恐ろしい土蜘蛛のところへ走り出します。

私たちはこの作品を通して子供達に、子供時代を子供らしくたくましく、困難にも真正面から立ち向かっていく勇気、生きていく希望を感じてもらいたいと考えます。

【キーワードのせりふ】

おばあちゃん ／「よかよか。智は「智の時間」を歩いとると。人と比べてもつまらん。智がゆっくり歩きたいならそれでよか。ばあちゃんだって、ばあちゃんの時間を歩きよる。誰にも邪魔させんよ。」

（行き過ぎた競争社会にあおられて自分を見失いがちになる子供達へ最高のメッセージです。）

おばあちゃん ／「ばあちゃんは「あっかんべー」ってすると心がスーッと元気になると。ほれ、智もやってみらんね。」

（自己肯定感の無さから、嫌なことも嫌といえず自分の気持ちを他人に対して、表現しづらい現代の子供達に送るかわいらしい魔法の言葉「あっかんべー」。終演後はいっとき学校ではやるそうです。）

＊ 社会保障審議会推薦児童福祉文化財（舞台芸術）
＊ 令和元年度・令和 2 年度文化芸術による子供育成総合事業−巡回公演−採択作品

演目選択理由	＊　最近、教育現場の先生方から不登校や保健室登校の低学年化が進んでいると聞きました。思春期に入る前から自己肯定感が少なく、友だちとコミュニケーションをとりづらい子供たちが増えてきているとの事。 　主人公の智も同じで何事にも「やだやだ」が口癖ですが、物語が進行するにつけ友達のために勇気ある行動を取り始めます。智のようなおとなしい子供たちにはちょっとした勇気を、強い子たちにはおとなしい友だちへの共感力を学んでもらい、コミュニケーション能力の育成を図りたいと考えます。 ＊　この事業の目的の一つ「発想力の育成」は体験や模倣から鍛えられます。子供達の感想文に「4 人だけで劇をしていたけど 10 人ぐらい人がいるように思いました。」とか、「あんな劇とか歌を 4 人でするのがびっくりしました。」とあります。この演目は、様々な役が登場しますが、4 人の俳優だけで楽しいキャラクターをスピーディーに演じ分けるために様々な仕掛けが用意されています。 　また、大道具はシンプルで、センターの二畳の平台と自在に変化する 4 本の柱だけです。ある時は森の中、ある時はおばあちゃんの家にと様々な場面に瞬時に変化し、子供達の想像力を刺激します。このような驚きや刺激が発想力の向上の素となり、舞台芸術への興味と、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につながると考えます。
児童・生徒の出演，参加又は体験の形態	＊可能であれば、二場面に出演してもらいます。（学年は主人公と同じ4年生がベスト） 場面①　おばあちゃんの家に引っ越してきた智がよく一人で遊びに行く森の中。三人の俳優たちが、森の中の様子をマイムで表現しますが、その中の表現（蝶、枯葉、水溜り、コスモス、トンボ）を一緒に演じてもらいます。**上限3名**

<table>
<tr><td></td><td colspan="3">

場面② エンディング。俳優たちと一緒にテーマソングを歌い、踊ってもらいます。
上限 20 名程

</td></tr>
<tr><td>出　　演　　者</td><td colspan="3">川島二郎、草河竜己、稲永清音、寺尾実里</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者:　4 名
ス タ ッ フ:　0 名
合　　計:　4 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>マイクロバス　車長 7m
台 数　1台</td></tr>
</table>

【公演団体名　　劇団風の子九州　　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み（ 有 ・ (無) ） 会場設営の所要時間（　　2 時間 30 分程度　）
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>リハーサル</td><td>本番</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>8:30</td><td>8:30～11:00</td><td>11:30～12:15
午前 4 限目</td><td>13:30～14:45
午後 5,6 限目</td><td>15:00～17:00</td><td>17:00</td></tr>
</table>
↑
＊4 時限目に出演する子どもたちとのリハーサルが入ります。
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。
＊午前公演（前後の日程により可能）の場合は、前日3時間程度の仕込、当日は、1 時限目リハーサル、3,4 時限目本番、15:00 搬出完了</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>40名程（小学4年生）</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>鑑賞可能人数:200名程
共演児童人数:場面①6名まで　場面②4年生全員（～20 名程）</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">＊出演場面の練習が主になるので、主人公と同学年の4年生に参加してもらいます。
ワークショップの流れ
① 劇団の自己紹介をします。
② リラックスするために最初にちょっとした表現ワークをします。
③ お芝居のあらすじを紙芝居仕立てで話します。
④ 二グループに分かれます。可能であれば別々の場所での練習。
☆ 場面①チーム
選抜の6名ほどと、劇中に登場する花や虫等の身体表現の練習をします。
☆ 場面②チーム
エンディングの歌とダンスの練習をします。
（ちなみに、場面①チームはこの日は歌とダンスの練習は出来ませんが、後日学校で練習して公演当日、出演することは可能です。）
⑤ 最後に、お互いのチーム毎に、この日の練習の成果を見せ合います。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td colspan="2">子供たちは思春期の入り口にさしかかる頃、自我の目覚めと共に他者からの目を意識し始めます。そのことにより人前に立つ、または人前でしゃべる、ましてや人前で演じるということに相当なプレッシャーを感じる子どももいます。そこで、演劇とは「ごっこ遊び」や「まねっこあそび」の延長であり、今回の舞台表現は「遊びとして楽しんで、思いっきり演じてほしい。」と伝えるためのワークを心がけます。

① 劇団との初めての出会いなので、お互い緊張感を取り除くために、体育館いっぱい動き回れる表現ワークを行います。
② 演目の全体像が想像出来るように、あらすじを説明して、子どもたちが登場するシーンがどのような意味合いがあるのかをイメージしてもらいます。
☆場面①チーム
セリフがない身体表現です。一人ずつ表現するのではなく、友達同士合体して表現するので、恥ずかしさも薄れ、友だちと協力して表現する楽しさが育成できます。
☆場面②チーム
歌とダンスを楽しく表現できるような指導を心がけます。体育館フロアーに実際</td></tr>
</table>

	の舞台の寸法を記し、客席からの登場方法、実際の踊る位置、退場の仕方なども練習して、子供達の不安を取り除く努力をします。 ③　最後にお互いのチームで見合うことにより、相手チームの頑張りや、日常とは違う友達の表現に刺激を得て、自分や自分たちのチームを省みることになり、本番当日までの練習にやる気を持って向かうことが出来るようになります。
特別支援学校での実施における工夫点	二回の体験場面は原則として実施できるように工夫しますが、各校、各子どもたちにより被支援の状況が異なるので先生方と綿密な打ち合わせを行い、表現方法の可能性を探っていきます。例としては、全員で鳴り物を持ってリズムをとりながら歌い、先生方が車椅子に一人ずつ付いての車椅子ダンスを披露したこともあります。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

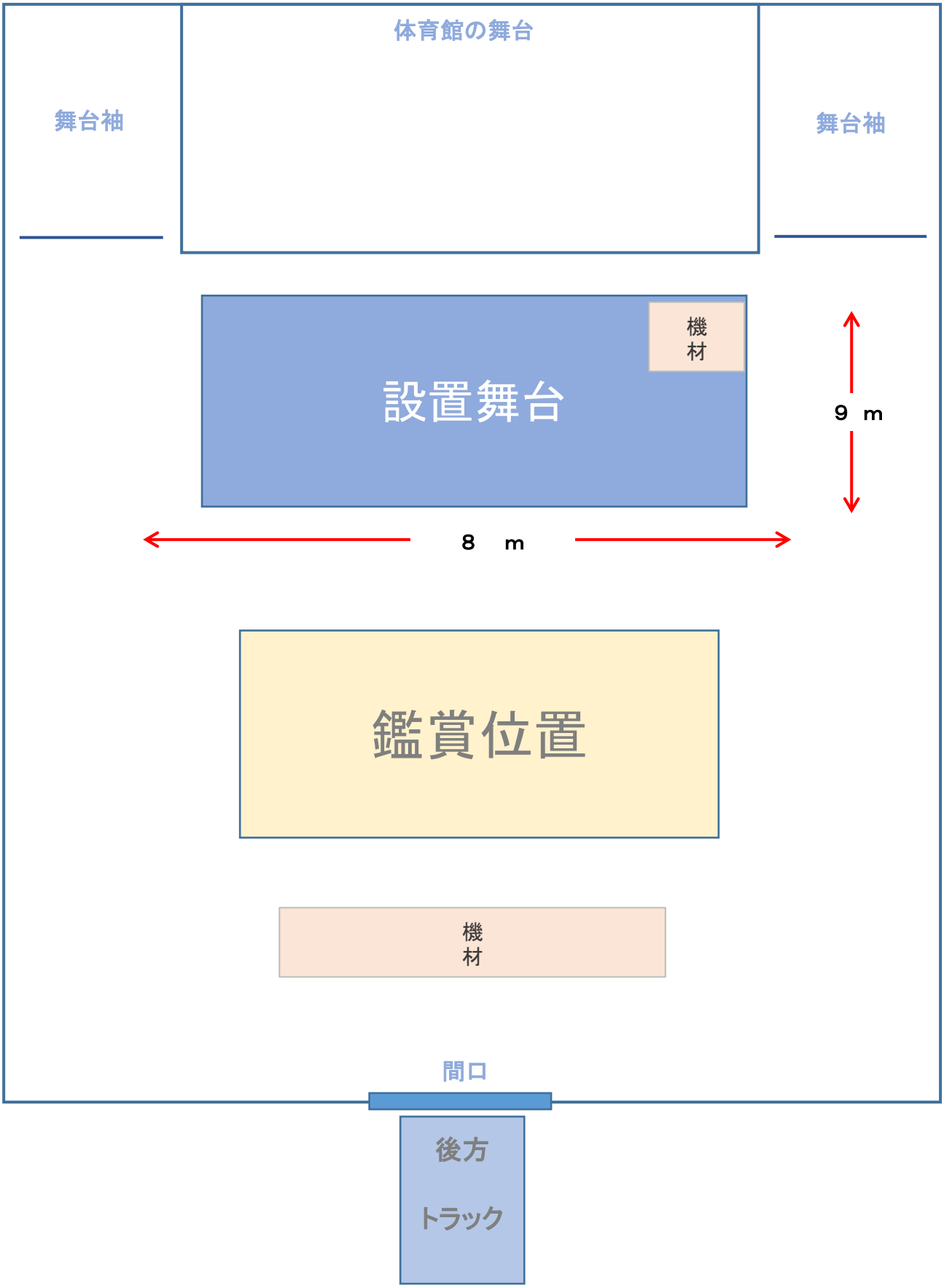
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	442	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	C区分
公演団体名	劇団風の子九州				制作団体名	企業組合　劇団風の子九州			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	1室	条件	体育館ステージが控室として使用できない場合は1室必要です。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			中型バス　1台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			マイクロバス（長さ6.99、幅2.03、高さ2.58）m			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない			
	可	搬入経路の最低条件			・雨の場合、道具が濡れない経路が望ましい。			
		理由			音響器材、照明機材、大道具等がある為。			
	可	設置階の制限＊			問わないが、1階が望ましい。			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8	高さ	1.8		
WSについて	可	参加可能人数		40名程度まで				
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	小学校4年生		
	可	所要時間の目安 単位：分		85分程度（途中休憩あり）				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		200名程度まで				
	不可	舞台設置場所＊		フロア				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8	奥行	9	高さ	3
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要			
	可		舞台袖スペースの条件＊		着替えられるスペースがあれば良い			
	可		緞帳＊	無くても可能	バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	完全遮光でなくても公演可能。一部分でも構いません。要相談。		
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	可		ピアノの事前調律＊		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量		50A	（以下の場合は要相談、対策を考えます。） ※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和２年度
文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―

劇団風の子九州　児童劇公演

文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校、中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

知っていますか？　～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1944年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

文化庁

狐

人間に化けたり、人に乗り移って病気をもたらしたりする（水藻や木の葉や馬の沓などを頭に載せて化ける）。

あらすじ

山あいに住む一人暮らしのおばあちゃんの家に、引っ越してきた小学校４年生の女の子智。でも智は引っ越して来たくありませんでした。すごい田舎だし、お化けみたいなおばあちゃんはいるし・・・。すこし内気な智は、おばあちゃんとも転校したばかりの小学校にもなじめず、学校に行かなくなってしまいました。ある日、おばあちゃんの家を探険していると、声が聞こえます。「おばあちゃん、年だから独り言がおおいのかな？」と、思っていたら、独り言じゃなかったのです。泥棒？ お化け？

不思議なおばあちゃんと謎の同居人。そして裏山にはまだまだ、なにか潜んでいるようです。

それは、妖怪・・。ひょんな事から、その妖怪を救うことに!?

はてさて、内気な智は妖怪を救うことができるのか？　さあ、冒険のはじまりはじまり！

あまのじゃく

悪鬼神、小鬼。物まねがうまく他人の心を探るのにたけている。

人面樹

山中にあってその花が人の顔に似ており、しきりに笑うが、笑うと落下してしまう。

カッパ

川や池などの水界に住む。妖怪の童子の姿としておかっぱ頭に皿のようなものがあって、そこにいつも水をたたえている。

サトリ

獣のような姿の妖怪。読心術のように人の心を見抜いて話しかけてくる。

劇団風の子九州について

～子どものいるとこどこへでも とんでいく～

劇団風の子九州は、1985年劇団風の子より独立して誕生した、九州の福岡に本拠地を置く児童青少年演劇の専門職業劇団です。〝子どものいるところ、どこへでもとんでいく〟を合言葉に、九州・沖縄各地の街中や山間部の集落、点在する離島を駆け回ってきました。

90年からは国内だけでなく、韓国・中国・インドネシア・パキスタン・インド・オーストラリアなど、アジアを中心に海外公演にも出かけ、多くの人たちとの交流を深めてきています。

2002年からは、韓国の劇団サダリとの合同公演『マンナム』を創り上演してきました。アシテジ（国際児童青少年演劇協会）の国際フェスティバルinソウルでは日本代表としても参加しました。

2015年には、劇団創立30周年を迎えることができました。これからも地域で、〝子どもたちと共に未来を創る劇団〟として、従来の演劇様式にこだわらず、遊びや日常生活の中から、新しい創造と表現の世界を追求し広げていきたいと思っています。

劇団 風の子九州

〒814-0002 福岡市早良区西新５丁目5-13
TEL 092-841-7889　FAX 092-841-7896
https://www.kazenoko-kyushu.com
E-mail：info@kazenoko-kyushu.or.jp

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に〇を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，〇を付してください。　A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無（該当する方に〇を付してください。）　あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに〇を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃしょーまんしっぷ 有限会社ショーマンシップ		
代表者職・氏名	代表取締役・仲谷一志		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒810-0063 福岡県福岡市中央区唐人町 1-10-1 カランドパーク 203 （福岡市地下鉄 唐人町駅）		
電話番号	092-716-3175	ＦＡＸ番号	092-722-5205
ふりがな 公演団体名	げきだんしょーまんしっぷ 劇団ショーマンシップ		
代表者職・氏名	座長・仲谷一志		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒810-0063 福岡県福岡市中央区唐人町 1-10-1 カランドパーク 203 （福岡市地下鉄 唐人町駅）		
制作団体設立年月	1994 年　10 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役　仲谷一志 取締役　市岡洋 創造部長　生田晃二 制作・営業　宮崎果林・田村真理 経理　泰川美喜	（座長）仲谷一志 （作家・演出家）市岡洋・生田晃二 （俳優）原岡梨絵子・山浦奈美・中野隆・栗野直樹・寺崎索・東沙耶香・山口泰弘・宝伊謙斗・大嶋光男・東島弘典・内山侑香・平岡七海・古澤大輔・米倉佳奈・溝田優・田中直 【加入条件】毎年オーデションを行い、劇団理念に適合する優秀な人材のみ加入可能。	
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	宮崎果林
経理処理等の監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	泰川美喜

制作団体沿革	平成 6 年 10 月 「劇団ショーマンシップ」設立。 平成 11 年 2 月 法人設立。「有限会社ショーマンシップ」となる。 平成 12 年 4 月 「唐人町商店街・甘棠館 Show 劇場」に拠点を移す。演劇活動が地域の活性化に一役担えることを実証する。 平成 16 年 「日本児童・青少年演劇劇団協同組合」に加盟。「子どもの感じる力」を育てる作品の公演を始める。 平成 21 年 ユメニティのおがた(福岡県直方市)とレジデンスカンパニー契約を結ぶ。毎年、劇場公演・アウトリーチを行っている。 平成 26 年 12 月 劇団創立 20 周年記念公演として、博多座にて「亀井南冥伝～金印の謎を生んだ男～」を公演し、大好評を博す。 平成30年 6月 新しい学校巡回公演作品として「生きろ！～十五少年漂流記より～」(芸術文化振興基金助成事業)のお披露目公演を西鉄ホール(福岡県福岡市)にて公演。 平成 31 年 2 月 「選挙で GO！～この村を今一度センタクするバイ～」(芸術文化振興基金助成事業)を甘棠館 Show 劇場(福岡県福岡市)にて公演。 令和 1 年 12 月 創立 25 周年記念公演「THE NIWAKA～博多の町の芸処～」(芸術文化振興基金助成事業)を博多座にて公演。 令和 2 年 10 月 戦後 75 年プロジェクト ギンギラ太陽‘s×劇団ショーマンシップ公演「PEACE HILL 天狗と呼ばれた男～岡部平太物語～」(舞台芸術創造活動活性化事業)を西鉄ホール(福岡県福岡市)にて公演予定。
学校等における公演実績	平成 14 年度 「Who am Ⅰ?」 22 校 計:22 公演 平成 15 年度 「Who am Ⅰ?」 23 校 計:23 公演 平成 16 年度 「ノートルダム物語」 27 校 「ないた赤おに」 12 校 計:39 公演 平成 17 年度 「ノートルダム物語」 25 校 「ないた赤おに」 2 校 計:27 公演 平成 18 年度 「ノートルダム物語」 25 校 「ないた赤おに」 14 校 計:39 公演 平成 19 年度 「ドン・キホーテ」 16 校 「ないた赤おに」 7 校 計:23 公演 平成 20 年度 「ドン・キホーテ」 23 校 「ないた赤おに」 3 校 計:26 公演 平成 21 年度 「ドン・キホーテ」 16 校 「ないた赤おに」 8 校 計:24 公演 平成 22 年度 「ノートルダム物語」 14 校 「ないた赤おに」 35 校 計:49 公演 平成 23 年度 「ノートルダム物語」 28 校 「ないた赤おに」 20 校 計:48 公演 平成 24 年度 「ノートルダム物語」 28 校 「ないた赤おに」 9 校 計:37 公演 平成 25 年度 「ノートルダム物語」 27 校 「星とあるいた白象」 17 校 「ないた赤おに」 26 校 計:70 公演 平成 26 年度 「ノートルダム物語」 23 校 「星とあるいた白象」 4 校 「ないた赤おに」 6 校 計:33 公演 平成 27 年度 「ノートルダム物語」 11 校 「星とあるいた白象」 10 校 「ないた赤おに」 14 校 「九州の民話めぐり」 24 校 計:59 公演 平成 28 年度 「ノートルダム物語」 11 校 「星とあるいた白象」 12 校 「ないた赤おに」 16 校 「九州の民話めぐり」 14 校 「奪われた手紙～民間検閲局～」 3 校 計:56 公演 平成 29 年度 「ノートルダム物語」 5 校 「星とあるいた白象」 2 校 「ないた赤おに」 11 校 「九州の民話めぐり」 31 校 計:49 公演 平成 30 年度 「ノートルダム物語」 4 校 「生きろ！～十五少年漂流記より～」 4 校 「ないた赤おに」 16 校 「九州の民話めぐり」 1 校 「インプロショー」 2 校 「カラカラ王子とびちゃぴちゃ姫」 30 園 計:57 公演 令和 1 年度 「ノートルダム物語」4 校 「生きろ！～十五少年漂流記より～」11 校 「ないた赤おに」19 校 「砂漠の王子の冒険」5 校 「インプロショー」2 校 計:41 公演 巡回公演 総合計:722 校
特別支援学校における公演実績	平成 18 年度 「なりきりオウムとはりきりサーカス団」 福岡県立福岡聴覚特別学校 平成 18 年度 「ないた赤おに」 福岡県立筑後特別支援学校 平成 19 年度 「なりきりオウムとはりきりサーカス団」 福岡県立田主丸特別支援学校 平成 20 年度 「なりきりオウムとはりきりサーカス団」 福岡県立川崎養護学校 平成 21 年度 「ないた赤おに」 福岡県立小郡特別支援学校 平成 21 年度 「ないた赤おに」 福岡県立特別支援学校「福岡高等学園」 平成 22 年度 「笑劇！黒田騒動」 特別支援学校「北九州高等学園」 平成 23 年度 「ノートルダム物語」 大分県立宇佐支援学校 平成 24 年度 「ノートルダム物語」 滋賀県立草津養護学校 平成 24 年度 「ノートルダム物語」 三重県立聾学校 平成 26 年度 「ないた赤おに」 福岡県立直方養護学校 平成 30 年度 「ないた赤おに」 福岡県立小郡特別支援学校 令和 1 年度「ないた赤おに」福岡県立南福岡特別支援学校

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://youtu.be/UUrHNZYr5P0
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　劇団ショーマンシップ　】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	笑って！泣いて！心揺さぶる物語を子供たちへ
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	演目　ないた赤おに 原作　浜田廣介 脚色・演出　仲谷一志 音楽　山浦弘志 振付　近藤勇人 制作総指揮　仲谷一志 公演時間（ 45 分 ）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要	（あらすじ） 山の崖に住む「赤おに」は、村の人たちと仲良くなりたいと思っていました。ところが、人間たちは怖がって「赤おに」には近づいてきません。そこで「赤おに」は、『ココロノ　ヤサシイ　オニノウチデス。ドナタデモ　オイデクダサイ。オイシイ　オカシガ　ゴザイマス。オチャモ　ワカシテ　ゴザイマス。』と立て札を立てました。それでも人間は「赤おに」がだましているのだと思い、近づいてきません。「赤おに」はとても悲しみその立て札を壊してしまいました。 すると、ひょっこり友達の「青おに」が遊びにやってきました。そして人間たちと仲良くなれる方法があるというのですが・・・。 （みどころ） 『日本のアンデルセン』『日本児童文学会の三種の神器』と呼ばれた浜田廣介の原作に忠実な物語。 原作の持つ言葉のリズムを活かし、オリジナルの歌とダンスにて演出。 鬼の衣装や舞台装置など、視覚的な要素の芸術性が高い。 **『友情』**や**『思いやり』**というテーマと共に、将来子供たちが直面するであろう『社会矛盾』までも感じさせる本作品は上演後「クラス」や「家庭」での「語らい」のテーマになり得る。また、喜劇仕立てであり、ミュージカル仕立てである本作品は、「笑い」「涙」「感動」という舞台の魅力を堪能できる。 さらに「黒子」の存在をクローズアップしたオープニング、舞台転換をあえて見せるなど、「日本」の伝統芸能を意識した創りの本作品の鑑賞は、本事業の目的である「将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上」につながる。

<table>
<tr><td>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</td><td colspan="3">開催校の演劇に興味のある出演希望者 4～10 名との共演。
ワークショップ・当日リハーサルを経て、俳優と同じように衣装・メイク（こちらで準備）をして、本番に出演。
（出演シーン）
1） 赤おにの家に行くシーンで「村人役」として出演。
2） 「お祭り」シーンの舞台への出演。
「お祭り」シーンの歌『お祭り気分』は全児童と役者が一体となり、唄・踊り・ボディーパーカッションで共演。（ワークショップ・当日のオープニングアクトで指導）</td></tr>
<tr><td>出　演　者</td><td colspan="3">赤おに：TAKAHARU　青おに：栗野直樹　語り：平岡七海
与作：進藤祐行　喜作：宝伊謙斗

※主な出演者プロフィール（別紙 1）</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者：　5 名
スタッフ：　1 名
合　計：　6 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　2 t
車 長　5 m
台 数　1 台</td></tr>
</table>

【公演団体名　　劇団ショーマンシップ　　】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。
会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安	前日仕込み（ 有 ・ 無 ） 会場設営の所要時間（　　3　時間程度　）

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
9 時 30 分～	9 時 30 分～13 時	13 時 30 分～14 時 40 分	0 分	14 時 50 分～16 時	16 時

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	100 名（1 回）
	本公演	300名まで（共演可能人数は10 名まで）

ワークショップ実施形態及び内容

① 『インプロゲームを使ったアイスブレイク』・・・・・「心の解放」
② 『出演俳優による、原作「泣いた赤おに」の一部を読み聞かせ』・・・作品の紹介と原作者・浜田廣介の紹介、心に残ったシーンのエチュード。
③ 劇中歌「お祭り気分」の歌とボディーパーカッションの指導。
④ 作ってみよう！舞台の小道具！

ワークショップ実施形態の意図

プロの俳優による読み聞かせで、「言葉による表現の魅力」「日本語の魅力」に気付くきっかけを作り、エチュードを行うことで子供たちの表現力・想像力の向上を図る。
複数の子供たちで創作するボディーパーカッションは、発想力やコミュニケーション能力の育成に繋がる。
「語り役」が、ワークショップのファシリテーターとしても『児童』と近い距離をとることで、より作品を身近に感じテーマが伝わりやすくなる。
また、舞台で使う小道具（蝶々や舞台の背景として使う絵）の作成の行い、本番にて使用することにより子供たちの参加意識を高める。

特別支援学校での実施における工夫点

事前に先生方との打ち合わせを実施。
作品の内容・照明効果・音響効果などの詳細を説明後、細かに打ち合わせを行い、学校の特色に合ったワークショップ・本公演を実施する。
また本公演においては、プロジェクターを使用した字幕による台詞の表示と、一部、俳優がパネルや手話を用いた表現を行う。

実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

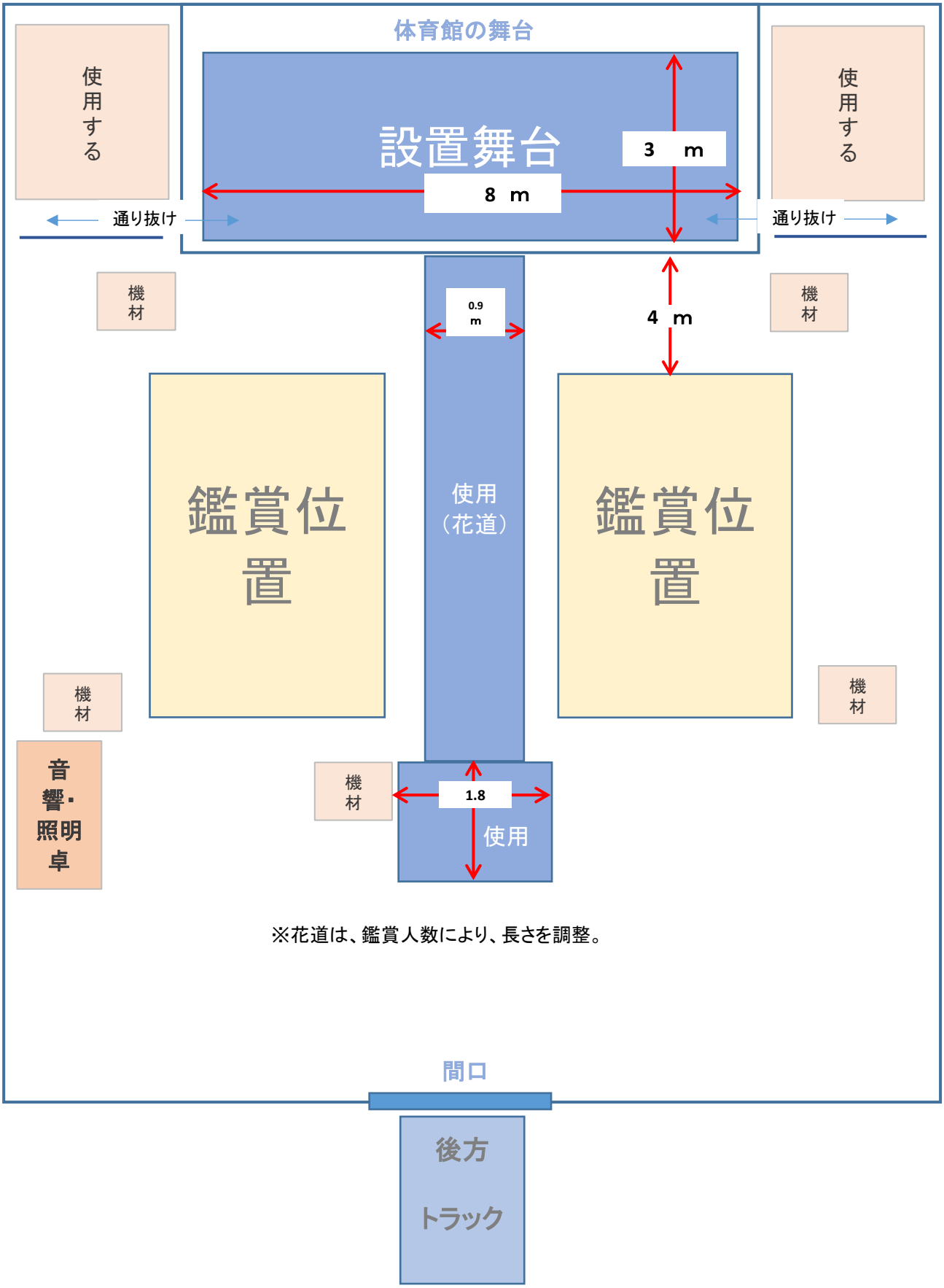
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	621	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック		区分	C区分
公演団体名	劇団ショーマンシップ				制作団体名	有限会社　ショーマンシップ			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	2室	条件	舞台の上手・下手袖に控えスペースがあれば、特に用意する必要はなし。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台	バン　1台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない			
	可	搬入経路の最低条件			特になし			
		理由						
	可	設置階の制限＊			問わない			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	0.9m	高さ	1.8m		
WSについて	可	参加可能人数		100名				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		60分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		体育館の場合、300名までが望ましい。				
	可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8m	奥行	3m	高さ	3m
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要			
	可		舞台袖スペースの条件＊		控室として使用。			
	可		緞帳＊	要	バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	演出のため		
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	―		ピアノの事前調律＊		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量		40A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							

会場図面(表記単位:メートル)



※花道は、鑑賞人数により、長さを調整。

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

劇団ショーマンシップ公演

ないた赤おに

原作／浜田廣介
脚色・演出／仲谷一志

あらすじ

山の崖に住む**赤おに**は、村の人たちと仲良くなりたいと思っていました。
ところが、人間たちは怖がって**赤おに**には近づいてきません。
そこで赤おには、
『ココロノ　ヤサシイ　オニノウチデス。　ドナタデモ　オイデクダサイ。
　オイシイ　オカシガ　ゴザイマス。　オチャモ　ワカシテ　ゴザイマス。』
と書いた立て札を立てました。
それでも人間は赤おにがだましているのだと思い、近づいてきません。
赤おにはとても悲しみ、その立て札を壊してしまいました。
すると、ひょっこり友達の**青おに**が遊びにやってきました。
そして人間たちと仲良くなれる方法があるというのですが・・・

楽しい音楽に合わせてのダンス！

キャストと一緒に、ボディーパーカッションをやってみよう！

原作の持つ言葉のリズムを大切にし、
「日本」の伝統文化を意識した演出。

『日本のアンデルセン』
『日本児童文学の三種の神器』
と呼ばれた浜田廣介の不朽の名作
「泣いた赤おに」を
原作に忠実に脚色！

友達の大切さを
この作品を観て
改めて考えよう。

笑って
泣いて
感動して

何度も観たくなる作品

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に〇を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，〇を付してください。　　A区分のみ　・　A区分とB区分の両方　・　C区分

複数申請の有無（該当する方に〇を付してください。）　　あり　・　なし

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに〇を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじんきょうとのうがくはやしかたどうめいかい 一般社団法人京都能楽囃子方同明会		
代表者職・氏名	理事長　武田市和		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒616-8372　京都市右京区嵯峨天龍寺広道町１０－１０　前川方 (JR 嵯峨嵐山駅)		
電話番号	075-600-2259	ＦＡＸ番号	075-600-2243
ふりがな 公演団体名	いっぱんしゃだんほうじんきょうとのうがくはやしかたどうめいかい 一般社団法人京都能楽囃子方同明会		
代表者職・氏名	理事長　武田市和		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒616-8372　京都市右京区嵯峨天龍寺広道町１０－１０　前川方 (JR 嵯峨嵐山駅)		
制作団体設立年月	1918 年 12 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長　武田市和 理事　左鴻泰弘 理事　吉阪一郎 理事　成田有辞 理事　前川光範 監事　西村保美	京都を主な活動地域とする玄人能楽師囃子方 23 名	
事務体制の担当	専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	谷口正壽

<table>
<tr><td>経理処理等の
監査担当の有無</td><td colspan="2">(有)・　無</td><td>経理責任者名</td><td>成田有辞</td></tr>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="4">大正 7 年、在京都の能楽囃子方が集まり「同盟会」を立ち上げました。戦中戦後の混乱期に一時自然解散しましたが、昭和 30 年「同和会」として再出発しました。以後、毎年1回囃子方ならではの公演に取り組み、昭和 61 年に、名称を「同明会」に改めました。平成 15 年より 8 年間、能楽囃子の音楽性にスポットを当てた、「囃子堂」公演にも取り組み、「同明会能」とあわせて毎年2回の公演を行ってきました。平成 24 年 10 月に一般社団法人京都能楽囃子方同明会として法人を設立。25 年度よりワークショップを中心とした学校公演や、子ども達だけで実演する、こども能楽囃子教室など次世代に能楽の魅力を伝える活動を展開しています。</td></tr>
<tr><td>学校等における
公演実績</td><td colspan="4">平成 30 年度
「こども能楽囃子教室」2 公演
「能楽囃子講座」1 公演
令和元年度
「こども能楽囃子教室」2 公演
「能楽囃子講座」1 公演
「体験、体感、能楽の世界」1 公演
令和 2 年度
「学校・アート・出会いプロジェクト　体験！能囃子の世界」6 公演</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="4">平成 25 年度　大阪府立刀根山支援学校（他事業）
平成 26 年度　三重県立特別支援学校北勢きらら学園、県立奈良西養護学校
平成 27 年度　青森県立若葉養護学校
平成 28 年度　長崎県立虹の原特別支援学校
平成 30 年度　福島県立相馬支援学校</td></tr>
<tr><td rowspan="8">参考資料の
有無</td><td rowspan="4">(A)</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td colspan="2">(有)・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td colspan="2">(有)・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td colspan="2">https://youtu.be/rkNuWes5ZK0</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td colspan="2">ID:
PW:　　必要なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">A の
提出が
困難な
場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td colspan="2">有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td colspan="2">ID:
PW:</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

Ａ区分・Ｂ区分・Ｃ区分共通

№2(実演芸術)

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　一般社団法人京都能楽囃子方同明会】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中 学 生
企画名	囃子堂　音楽として聴く能
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 2. 各楽器解説 3. 早笛 4. カケ声で表現してみよう 5. 能楽囃子の表現法（大ベシ・流シ） 　休憩 6. 三番三共演 7. 神楽 8. 獅子 9. 終わりの挨拶と質問コーナー 公演時間（95分）

著作権		制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要	能楽の音楽性にスポットを当てた、ライブ感覚の公演です。 1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 …居住まいを正し、きちんと挨拶をしたあと、能楽の概要や歴史をわかりやすく説明します。 2. 各楽器解説…各楽器の説明をして、能囃子の音楽としての魅力を解説します。 3. 早笛…龍神や鬼が登場する際に演奏される軽快で、ハイテンポな登場の音楽です。 4. カケ声で表現してみよう…能楽囃子の特徴であるカケ声を体験して頂きます。カケ声のかけ方でどんな感じに聞こえるのか、間の取り方がどんな風に変わるのかを体験します。 5. 能楽囃子の表現法（大ベシ・流シ）…大ベシは早笛と同じ旋律・リズムパターンですが、テンポが極端にゆっくりで、力強く超高速での移動を表現します。早笛と比較することで能楽囃子の表現法を学びます。流シでは、互いの気を感じて打つ能楽囃子の最高技法を体験します。 　休憩　希望者は小鼓と大鼓を体験できます。（ふれあいタイム） 6. 三番三共演…翁に付随する狂言の舞曲です。大変めでたい曲で、同じリズムを繰り返し演奏します。児童・生徒と共演することで会場全体が一体となる楽しい演奏としたいと思います。 7. 神楽…天照大神が隠れた、天岩戸の前で天鈿女命が舞う舞曲です。リズム、ノリの変化に富み、高い演奏技術が要求される楽曲で、大変緩急の激しく観る者をワクワクさせる曲です。 8. 獅子…文殊菩薩の霊獣獅子の舞曲です。静と動・間合のやりとり・気迫が充実した曲で、これぞ能楽囃子の真髄と言えます。

	9．終わりの挨拶と質問コーナー…様々な疑問にお答えします。最後に始まりと同じく、居住まいを正して、きちんと挨拶をします。
演目選択理由	能楽は、演劇・舞踊・音楽・文学・美術など様々な要素が入った、総合芸術です。この公演は能楽の音楽である、囃子にスポットを当て、独自の音楽性を紹介します。 内容は、大人が聞いても十分に満足のいく芸術性の高い曲ばかりで、退屈しないようテンポの速く軽快な「早笛」、ゆったりと重厚な「大ベシ」、舞曲の原点と言える「神楽」、気迫が充実した「獅子」などを織り交ぜ、能楽囃子の魅力をわかりやすく伝えられるように選曲しました。 児童生徒との共演曲「三番三」は同じリズムの繰り返しなので児童生徒でも演奏しやすいことから選びました。 この公演は、特に能楽囃子の魅力が感じられる演目ばかりです。ともすれば難解と言われる能楽でも、音楽である囃子ならば理解と言うものを必要とせず、純粋に見て聞いて面白いと感じて頂けます。 能楽囃子は、わずか4人で30人のオーケストラに匹敵するといわれます。その力の源は「気迫」にあります。「気迫」とは、見える物ではなく、聞こえる物でもなく、感じるものです。この、目には見えない、耳には聞こえない「何か」を感じとることで、現代日本人が忘れてしまった五感以外の感覚を呼び覚まし、子ども達の感性を育みたいと思います。 能楽の「魅力」「迫力」を存分に伝え、西洋の「ド・レ・ミ」（絶対の音楽）とは全く違う、日本独自の能楽（相対の音楽）の素晴らしさが伝わる公演にしたいと思います。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	児童生徒共演のコーナーでは、児童生徒達は、ワークショップで体験した「三番三」の小鼓と大鼓を打ちます。事前に選抜した小鼓3名、大鼓3名の1組6名×3 組の児童生徒が、実際に楽器を持ち、小鼓と大鼓を打ちます。この時、出演能楽師の笛、小鼓、大鼓が加わります。選ばれなかった児童生徒達も手拍子で参加し、全員でカケ声をかけて、会場全体での共演となります。 カケ声で表現してみようでは、能楽囃子の基本である、カケ声を全員で体験します。 休憩中に、希望者は小鼓と大鼓の体験ができます。直にふれあうことで、児童生徒達と能楽師の距離を縮めたいと思います。
出演者	笛　**杉市和、森田保美、左鴻泰弘**、杉信太朗の内１名 小鼓　**林吉兵衛、吉阪一郎、曽和鼓堂、古田知英**、林大和、林大輝の内１名 大鼓　**河村　大、石井保彦、谷口正壽、井林久登**、渡部諭、河村凛太郎の内１名 太鼓　**前川光長、井上敬介**、前川光範の内１名 案内人　**谷口正壽**、渡部諭、河村凛太郎の内１名 （太字は重要無形文化財総合指定保持者） 計5名

公演出演予定者数（1公演あたり）	出演者:　5名 スタッフ:　1名 合　計:　6名	機材等運搬方法	積載量　0．7t 車長　4．8m 台数　1台

【公演団体名　一般社団法人京都能楽囃子方同明会**】**

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み（ 有 ・ 無 ） 会場設営の所要時間（ 0．5 時間程度 ）
<table><tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr><tr><td>11 時 30 分</td><td>11 時 30 分～12 時</td><td>13 時 30 分～15 時 5 分</td><td>10 分</td><td>15 時 30 分～15 時 50 分</td><td>16 時</td></tr></table>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ　150 名</td></tr>
<tr><td>本公演　800 名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>公演当日に共演する「三番三」の小鼓を指導します。
能楽という日頃見ることのない芸術を親しみやすく伝えるため、それぞれの専門家である、小鼓方・笛方・大鼓方（全員能楽師）の計3名でワークショップをします。なぜカケ声を掛けるのか、正座をして演奏するのか、そして何が必要なのかを解説します。カケ声をかけるのを恥ずかしがる子達が多いと思われますので、まずは声を出す練習に力を置きます。
能楽は日常の稽古が大切です。ワークショップ終了後に、小鼓、大鼓の構え方、打ち方の練習用に小鼓と大鼓のレプリカをお貸しします。それを使って繰り返し練習してもらいます。

1．始まりの挨拶…居住まいを正し、きちんと挨拶します。
2．能楽ってなあに？…能楽の構成や特徴をわかりやすく説明します。
3．小鼓ってどんな楽器？…小鼓の打楽器でありながら、一つの楽器で音色を変えられる、世界的に見ても類い希な構造や演奏法を紹介します。
4．大鼓ってどんな楽器？…大鼓は小鼓とよく似ていますが、性質は全く正反対です。特徴と演奏法を紹介します。
5．能楽囃子を聞いてみよう。…「安宅瀧流」を実演します
6．カケ声を掛けよう。…どうしてカケ声を掛けるのかを解説し、カケ声には何が大切なのかを解説し、みんなでカケ声を掛けます。
7．能楽囃子を聞いてみよう。…公演当日に共演する「三番三」を実演します。
8．三番三を打ってみよう。…公演当日に、共演する「三番三」の小鼓と大鼓を指導します。
休　憩　10分
9．小鼓と大鼓を体験しよう。…児童生徒達に実際に、楽器に触れていただきます。
10．質問感想コーナー…不思議に思ったこと、興味を持ったことなど、何でもお答えします。
11．終わりの挨拶…始まりと同じく居住まいを正してきちんと挨拶をします。
（95 分）</td></tr>
</table>

ワークショップ実施形態の意図	西洋式の生活スタイルになった現代において、能楽は、日常から縁遠い芸術かも知れません。このワークショップは、和気あいあいと、子ども達とふれあいながら、能楽の基本を紹介します。子ども達には、能楽とは特別・特殊なものではなく、身近なものだと感じてもらいたいと思います。そして、日本の伝統的な姿勢やカケ声・間を知り、世界に誇る能楽の特徴を理解して、「肚を据えて、気を込める。」ことを体験することにより、日本人が元来持っている、芯の強さを身に付けて欲しいと思います。 能楽は礼に始まり、礼に終わります。挨拶は、コミュケーションの第一歩です。姿勢を正し、心を添えて挨拶することで、相手への尊敬を表します。互いに尊敬し合うことで、自他の存在を認め、心を開き近づくことができると知って欲しいと思います。
特別支援学校での実施における工夫点	学校側と緊密に連絡を取り、事情に応じて、できるだけ可能な範囲でのワークショップを行い、公演につなげます。 具体的には、解説を省き、カケ声体験。手拍子での囃子体験に重点を置く。実際に楽器に触れる、肌で感じる公演にする。楽器の共演が難しいときは、カケ声での共演にするなど、臨機応変に様々な形で、児童生徒達の心に残る、肌で感じる、公演・ワークショップにします。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

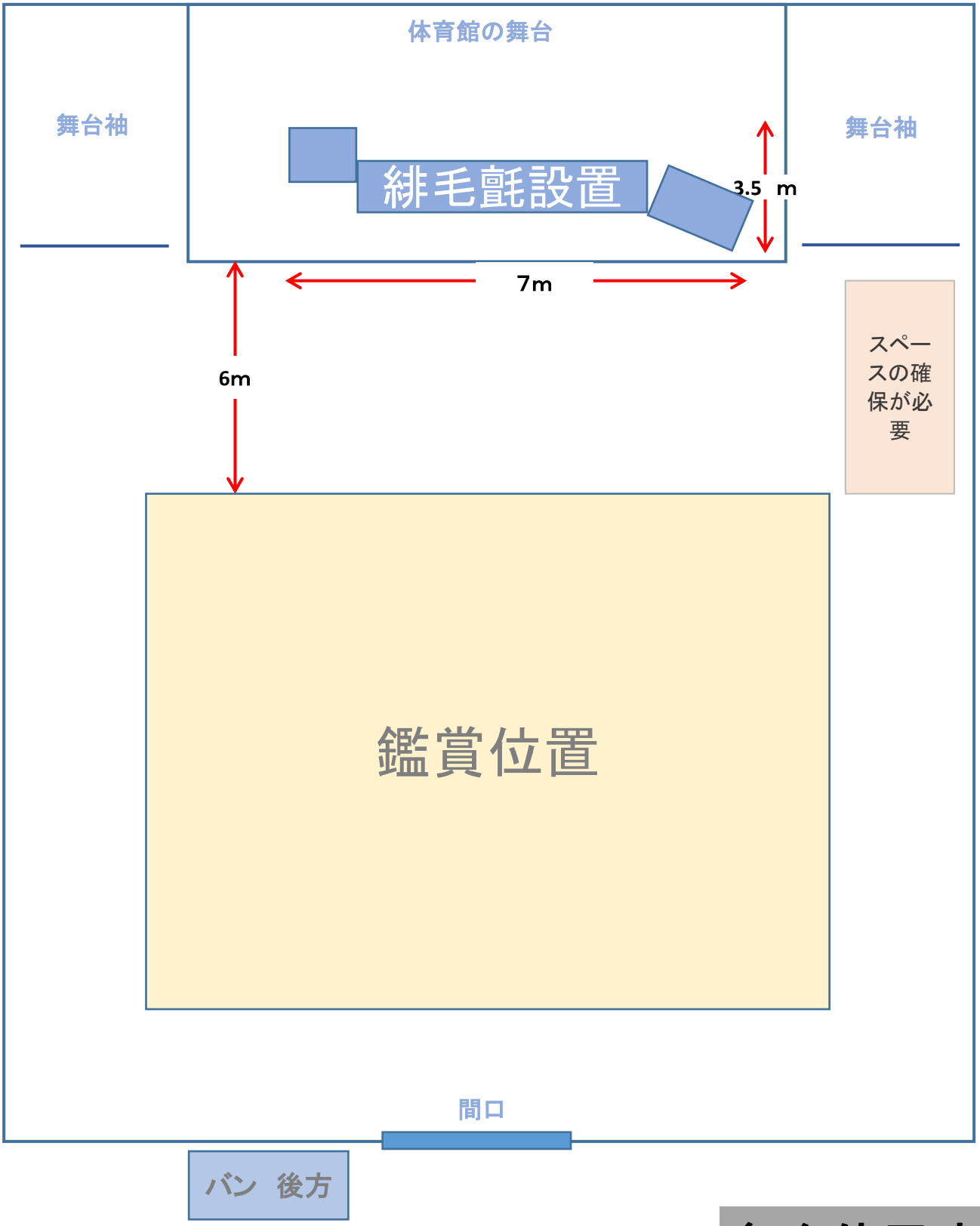
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	940	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック		区分	C区分
公演団体名	一般社団法人　京都能楽囃子方同明会				制作団体名	一般社団法人　京都能楽囃子方同明会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	1室	条件	和室など土足厳禁の部屋があれば幸いです。ない場合は当方で敷物を敷いて対応します。			
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4.8m　0.7t			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内			
	可	搬入経路の最低条件						
		理由			搬入荷物の大きさのため			
	可	設置階の制限＊			問わない			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1m	高さ	1.8m		
WSについて	可	参加可能人数		150名				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊			
	可	所要時間の目安 単位：分		95分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		800名				
	可	舞台設置場所＊		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	7m	奥行	3.5m	高さ	2.2m
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	不要				
	―		舞台袖スペースの条件＊					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要		
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可				
	―	公演に必要な電源容量		不要	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							

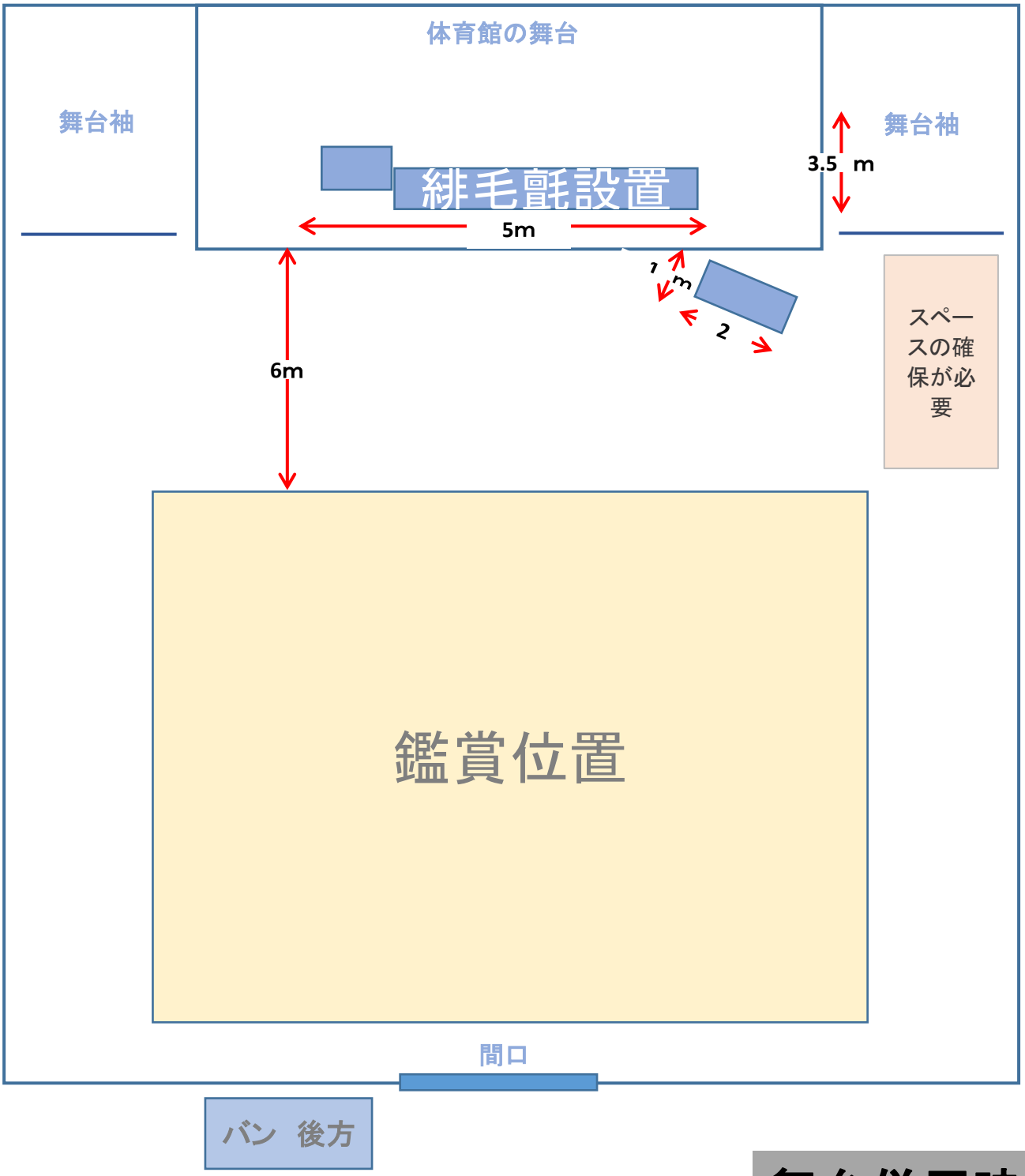
会場図面(表記単位:メートル)



舞台使用時

搬入間口について	幅	1m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m			

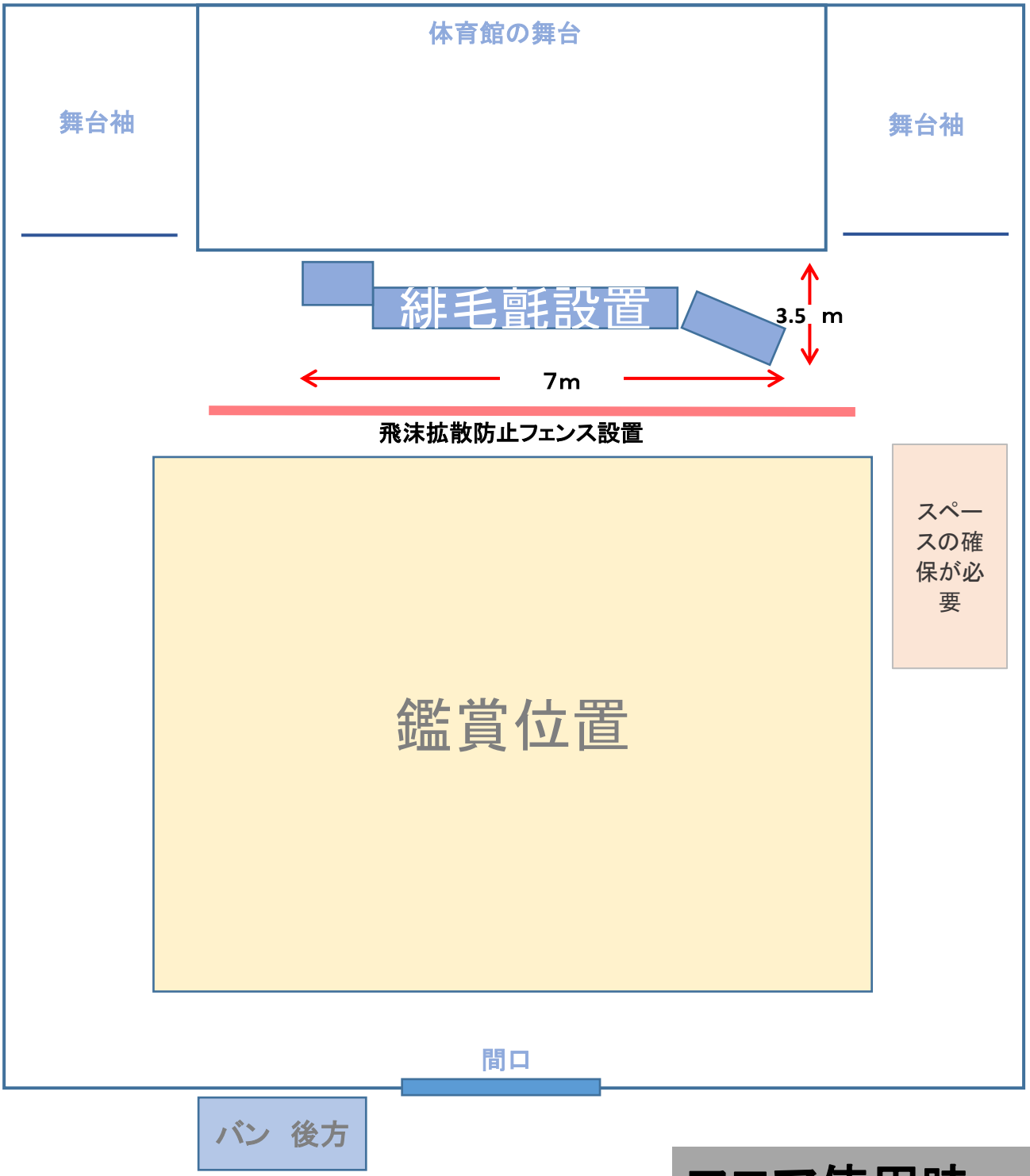
※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



舞台併用時

搬入間口について	幅	1m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



フロア使用時

搬入間口について	幅	1m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

文化庁

令和２年度 文化芸術による子供育成総合事業
～巡回公演事業～

のうがくこうえん 能楽公演

囃子堂 はやしどう

～音楽として聴く能～

大きな声で
かけ声をかけよう！

タ！ ヒャルリ～
ポ
ポ
ポ
ポ！

能楽師と一緒に
ワークショップで練習した
「三番三」の小鼓を発表しよう！

一般社団法人 京都能楽囃子方
同明会

文化芸術による子供育成総合事業～巡回公演事業～

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

イラスト © Kyoran

プログラム 95分

始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介	
各楽器解説	笛、小鼓、大鼓、太鼓。楽器の秘密に迫ろう。
「早笛」	軽快でハイテンポな登場の音楽を聴こう。
カケ声で表現してみよう	カケ声を体験しよう。カケ声で何が表現できるかな？
能楽囃子の表現法	囃子って、何をどんな風に表現するのかな？ 能楽囃子の最高技法を体験しよう。
・・・休憩・・・	
「三番三」共演	五穀豊穣を祈って、一緒に演奏しよう！
「神楽」	日本の音楽の原点「神楽」を聴こう。 いろんな演奏テクニックが詰まっているよ。
「獅子」	動と静。気迫。能楽囃子の真髄を感じよう。
質問感想コーナーと終わりの挨拶	

スケジュール

	実施日程	実施校
①	7月 6日（月）	石岡市立吉生小学校
	7月 8日（水）	田村市立都路小学校
②	11月 9日（月）	甲州市立神金小学校
	11月10日（火）	笛吹市立一宮北小学校
	11月11日（水）	茂原市立本納小学校
	11月12日（木）	千葉市立大木戸小学校
③	11月26日（木）	二本松市立旭小学校
	11月27日（金）	二本松市立塩沢小学校
④	12月 1日（火）	神津島村立神津中学校
⑤	12月 8日（火）	幸手市立行幸小学校
	12月 9日（水）	東松山市立大岡小学校
	12月10日（木）	館林市立第四小学校
⑥	12月15日（火）	荒川区立第六瑞光小学校

出演

	①	②	③	④	⑤	⑥
笛	杉 信太朗	森田 保美	森田 保美	森田 保美	左鴻 泰弘	森田 保美
小鼓	曽和 鼓堂	林 大和	曽和 鼓堂	古田 知英	林 大和	林 大輝
大鼓	河村 大	井林 久登	河村凛太郎	井林 久登	渡部 諭	石井 保彦
太鼓	井上 敬介	井上 敬介	前川 光長	前川 光範	前川 光範	前川 光範
案内人	谷口 正壽	谷口 正壽	谷口 正壽	谷口 正壽	谷口 正壽	谷口 正壽

プロフィール

一般社団法人 京都能楽囃子方 同明会

京都を活動の中心とする能楽囃子方の団体です。囃子方ならではの能楽公演「同明会能」や能楽囃子の音楽性にスポットを当てた「囃子堂」公演、ワークショップを中心とした「学校公演」、子供達だけで実演する「こども能楽囃子教室」など、次世代に能楽の魅力を伝える活動を展開しています。 大正 7年の創立です。

ウェブサイト http://noh-doumeikai.com

はやしどう？

絵：まゆか

♬ 知ってますか？～10月 1日は「国際音楽の日」です～ ♬

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の 1978年から毎年 10月 1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年 10月 1日を「国際音楽の日」と定めています。